

# 令和元年度 三日町保育園 園舎長寿命化工事

## ( 三日町保育園 )

工事箇所：箕輪町三日町 三日町保育園  
令和元年度 8月

### 図面リスト

建築工事（意匠）		建築工事（意匠）	
D-01	設計概要書	D-11	〔現況〕 平面図
D-02	建築特記仕様書1	D-12	〔現況〕 立面図
D-03	建築特記仕様書2	D-13	〔現況〕 屋根伏図
D-04	建築特記仕様書3	D-14	〔現況〕 詳細図 - 1
D-05	配置図・面積表	D-15	〔現況〕 詳細図 - 2
D-06	〔改修〕 平面図	D-16	〔現況〕 詳細図 - 3
D-07	〔改修〕 立面図	D-17	〔資料〕 昭和58年 確認申請添付図面 10枚
D-08	〔改修〕 天井伏図	D-18	
D-09	〔改修〕 屋根伏図	D-19	
D-10	〔改修〕 詳細図	D-20	

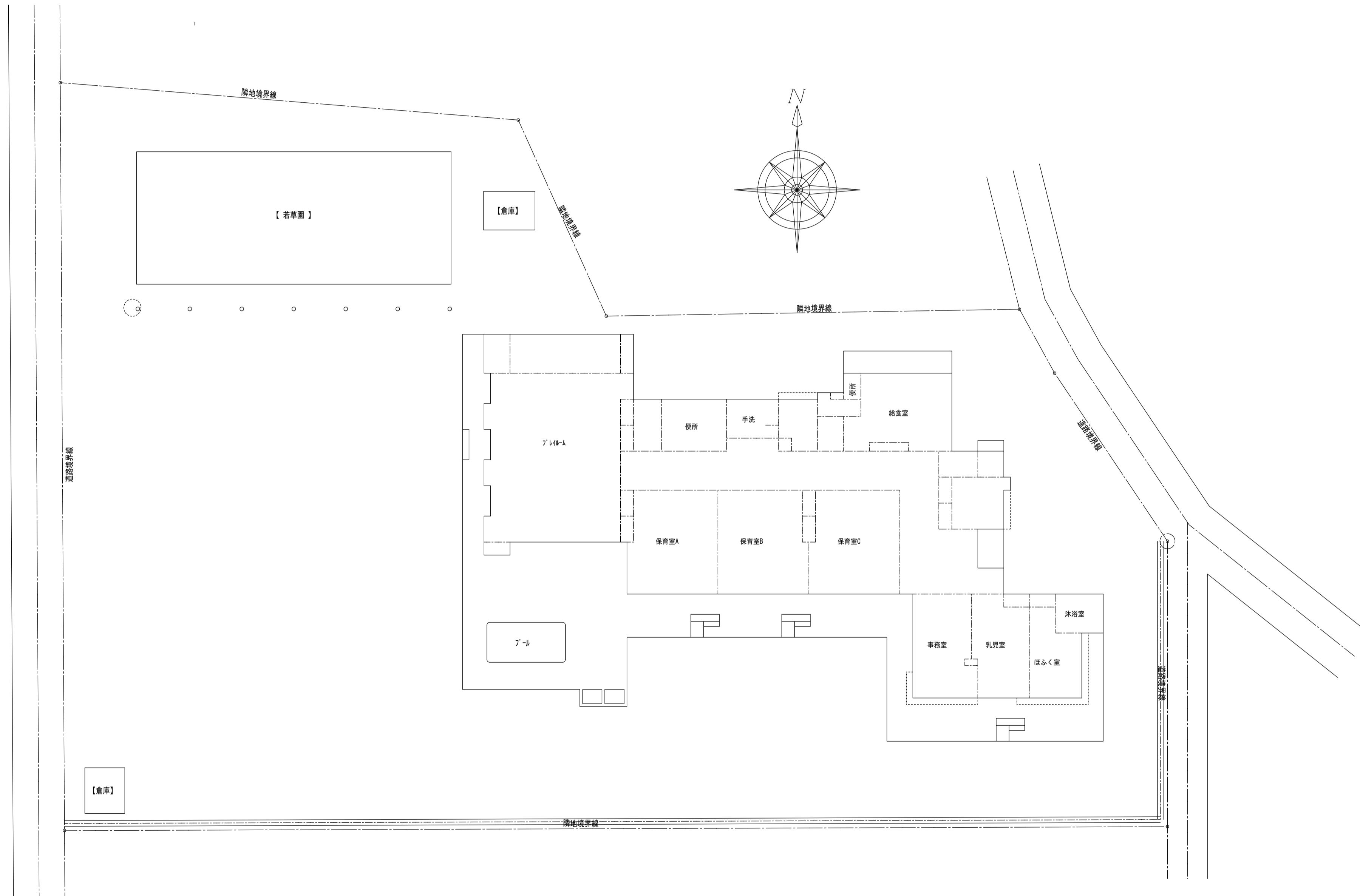


令和元年度 三日町保育園 園舎長寿命化工事 建築工事特記仕様書			⑥ 設備工事との 取合い			6 砂利地業			再生コンクリート塊 ※使用する ・ 使用しない (基礎下) (土間下) 厚さ ・ 150mm ・ 図示 (工作物下) 厚さ ・ 図示 県内産資材を優先使用するよう努めるとともに、本工事に県外産資材を使用する場合は県内産資材 を使用しない理由などを別紙「県外産資材使用報告書」に記入し、監督員に提出すること。 厚さ ※50mm (基礎下) (4. 6. 4)			14 床型枠用鋼製 デッキプレート			材質、形状及び寸法 ※監督員の承諾による		
I 工事概要 1 工事場所 2 敷地面積 3 工事種目			⑦ 完成図その他			7 捨てコンクリート			8 地盤改良			7 鉄骨工事 1 一般事項			鉄骨製作工場 (7. 1. 3) ※ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として 認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は(社)全国鉄構工業協会の「鉄骨製作 工場の性能評価基準」に定める ( M ) グレードとして国土交通大臣から認定 を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ 監督員の承諾する加工工場 施工管理技術者 ・ 設置する ( ・ 1級 ・ 2級) (7. 1. 4) 床書き原寸図 ・ 作成する (7. 3. 3) 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等 ・ 図示		
4 工事範囲 設計図に示した範囲とする。			8 化学物質の室内 濃度測定			9 平板載荷試験			9 平板載荷試験			2 材 料			種類の記号 (7. 2. 1) 規格番号 種類の記号 JIS G 3101 ・ SS400 ・ SS490 ・ SS540 JIS G 3106 ・ SM400A, B, C ・ SM490A, B, C ・ SM490YA, YB ・ SM520B, C JIS G 3114 ・ SM400AW, AP, BW, BP, CW, CP ・ SM490AW, AP, BW, BP, CW, CP JIS G 3136 ・ SM400A, B, C ・ SM490B, C JIS G 3138 ・ SM400A, B ・ SM490B JIS G 3350 ・ SSC400 JIS G 3353 ・ SMH400 ・ SMH400L JIS G 3444 ・ STK400 ・ STK490 JIS G 3466 ・ STKR400 ・ STKR490 JIS G 3475 ・ STKM400W ・ STKM400B ・ STKM490 ・ BCR295 ・ 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた鋼材		
II 建築工事特記仕様書 1 設計図及び特記仕様書に記載されていない事項は、原則として 「公共住宅建設工事共通仕様書(最新版)」「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」による。 2 特記仕様書の適用は、次のとおりとする。 (1) 項 目 ・ に○印を付したものを適用する。 (2) 特記事項 ・ に○印を付したものを適用する。 ・ に○印がない場合は、※印のものを適用する。 (3) 特記事項欄の ( ) 内数字は、公共住宅建設工事共通仕様書の 各章に対応した番号、表、図を示す。 (4) 製造所名の株式会社等の記載は省略する。また ( ) 内は製品名を示す。			2 仮設 工事			5 鉄筋 工事			5 鉄筋工事			2 材 料			種類の記号 (7. 2. 1) 規格番号 種類の記号 JIS G 3101 ・ SS400 ・ SS490 ・ SS540 JIS G 3106 ・ SM400A, B, C ・ SM490A, B, C ・ SM490YA, YB ・ SM520B, C JIS G 3114 ・ SM400AW, AP, BW, BP, CW, CP ・ SM490AW, AP, BW, BP, CW, CP JIS G 3136 ・ SM400A, B, C ・ SM490B, C JIS G 3138 ・ SM400A, B ・ SM490B JIS G 3350 ・ SSC400 JIS G 3353 ・ SMH400 ・ SMH400L JIS G 3444 ・ STK400 ・ STK490 JIS G 3466 ・ STKR400 ・ STKR490 JIS G 3475 ・ STKM400W ・ STKM400B ・ STKM490 ・ BCR295 ・ 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた鋼材		
章 項 目 特 記 事 項			3 土 工事			6 コン クリート 工事			6 コンクリート工事			3 工作一般			鉄骨の種類 (5. 2. 1) 鉄筋 種類 径 (mm) ※JIS G 3112規格品 (鉄筋コンクリート用棒鋼) ・ S-D3045 ※19以上 ・ ・ S-D295A ※16以下 ・ ・ JIS G 3112規格品 ・ S-D295B ※異形鉄筋棒鋼 (鉄筋コンクリート用再生棒鋼)		
1 一般共通事項			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			4 高力ボルト 接合			ターンバックル ターンバックル鋼 ※割折式 ターンバックルボルト デッキプレート 構造床用 材質、形状及び寸法 ・ 図示 合成スラブ用 材質、形状及び寸法 ・ 床型枠用鋼製 製造所名 ( ) 上記以外 材質、形状及び寸法 ・ 図示 柱底均しモルタル 無収縮モルタルとする場合のセメント ※JIS R5210 (ポルトランドセメント)		
2 技能士			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			5 溶接 接合			製作精度 ※(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事 (JASS 6) 付則6 鉄骨精度検査基準」による。 仮組 仮組の実施 ・ 摩擦面の性能及び処理 すべり係数試験の実施、試験の方法、試験片の摩擦面の状態 ・ JIS B 11895 に準じて実施 締付け ボルトの長さと呼び径の5倍を超える場合の回転量 ・ 120° (12φ以下は60°) 高力ボルトの締付け施工確認試験 ・ 実施する (7. 4. 7) 質量付加試験 (技能資格者) ・ 実施する (7. 6. 3) 開先形状 ※監督員の承諾による (7. 6. 4) 溶接施工 見逃れとなるエンドタブで疲労を考慮する必要がある部分 (7. 6. 7) ・ 完全溶込み溶接部の余盛の高さ ・ 部分溶込み溶接部の余盛の高さ ・ 隅肉溶接部の余盛の高さ ※(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事 (JASS 6) 付則6 鉄骨精度検査基準 付表3 溶接」による。 溶接の試験 完全溶込み溶接部の超音波深部試験 ・ 適用する 工場溶接の場合 平均出検品質限界 (AQL) ※4.0% ・ 2.5% 検査水準 ※第6水準 工場現場溶接の場合 平均出検品質限界 (AQL) ※4.0% ・ 2.5% 放射線試験及びエンドタブを用いたマクロ試験 ・ 実施する		
3 建築材料等			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			6 スタッド 溶接及び デッキプレート 溶接			デッキプレートの溶接 鉄骨部材に接合する場合の工法 ※デッキプレートを鉄骨部材に密着させ、アークスポット又は隅肉溶接 合成スラブとして使用 ※焼結溶接 ・		
4 特別な材料の工法			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			7 錆止め 塗装			錆止め塗装の種類 SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面 ・ 耐火被覆材の接着する面 ・ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・		
5 解体材、発生材等の 処理			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			8 耐火 被覆			耐火被覆材の種類及び性能 (7. 9. 2) アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
6 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
7 非難毒性アスベスト建材の処分については監督員の指示による。			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
8 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
9 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
10 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
11 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
12 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
13 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
14 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
15 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
16 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
17 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
18 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
19 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
20 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
21 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
22 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
23 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
24 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
25 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
26 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
27 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
28 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
29 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
30 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
31 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
32 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
33 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
34 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
35 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
36 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
37 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
38 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
39 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
40 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
41 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
42 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
43 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
44 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
45 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
46 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
47 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
48 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
49 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
50 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
51 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
52 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
53 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
54 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
55 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
56 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
57 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
58 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
59 特別管理産業廃棄物			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
60 現場利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7 鋼材工事			9 工事 現場施工			アンカーボルト等の設置：メーカー仕様による 建方用アンカーボルト又は構造用アンカーボルト ・ 適用する アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※建方用アンカーボルトは7. 10. 1表による (7. 10. 3)		
61 再生資源の利用を図るもの			4 地業 工事			7 鋼材 工事			7								

8 コンクリートブロック れんが工事	10 溶融垂鉛めっき 工法	柱底モルタルの厚さ ※30mm程度 (7-10-3)	10 石工事	1 テラゾブロック張り	材料 種石の種類 ※大理石 (10.2.1)	・ノンスリップ (14.6.3) 材質 ※ステンレス製 形状、寸法 アンカー付 埋込型 幅35 <図集E-103> ・床目地棒 材質、形状、寸法 (14.6.5) その他の金物 (14.6.5) ・アルミニウム製笠木(既製品) オープン形式 表面処理 ・A-1又はB-1種 ・B-2種 種類 275形、200形 役物は笠木本体製造所の仕様による。 ・物干し金物(既製品) アルミ製(カラー) 角度調整型 手摺取付上下移動式ポール共 ・ビット点検口(6ヶ所) SUS製600角 充填仕様 錠付 ・屋上点検口(1ヶ所) ステンレス製600角 ダンパー式 錠付 ・点検用タラップ SUS304 φ22 W400 躯体に打込 ・館名板 SUS合金既製品 100×100 取付金物 SUS304 ・階数表示(既製品 6ヶ所) SUS既製品 125×210 ・室名札 材質、形状、寸法、図示 ・展示板(・屋内・屋外) 材質 ・アルミ枠 材質 ・アルミ枠 形状 ・平付け 形状 ・平付け 寸法 ・図示 寸法 ・図示 ・210×115 ・避難口誘導標識 アクリル板 t=5 120×360 消防法の手続きをすること。 <図集E-711> ・集合郵便受(既製品) SUS製 防滴仕様 36戸用 ダイヤル錠 ・壁点検口(既製品) アルミ製 団団タイプ 450×450 ・換気レジスター 室内側：樹脂製可動ガラリ 室外側：アルミ製ガラリ VU管100φ 延焼のおそれのある部分は防火ダンパー付とする。 ・FF換気機用スリーブ 室内側：アルミ製キャップ 室外側：アルミ製キャップ SUS管75φ ・クーラー用スリーブ 室内側：アルミ製キャップ 室外側：アルミ製キャップ VU管75φ ・クーラー用インサート 室内：SUS製ボルト M10 2本/組 2重袋ナット	2 敷石及び階段石	材料その他 石(JIS-A 5003)の品質 ※2等品 (10.5.1)	4 建具用金物 【メーカー仕様】 ・和ふすま (16.6.5) 部材種別 ※I型・II型 周囲縁の仕上 ※A種・B種・C種・D種・E種・F種 引手 ※合成樹脂製(※丸型・角型) 鋼製(・丸型・角) ・量産ふすま 部材種別 ※I型・II型 周囲縁の仕上 ※A種・B種・C種・D種・E種・F種 ※特記以外の仕様(材料及び金物他)は長野県建築協会の「長野県型住宅用建具標準仕様書 平成19年版」による。 ・玄関ドア用錠前・戸先錠・召合せ錠 (16.7.3) 規格 ※サムターン付シリンドラ一面付箱錠 ・シリンドラ形込箱錠 仕様 ※B.L部品又は同等品 ・ロータリーディスクシリンドラ錠同等品 ・玄関ドア用錠前を交換用予備品として セット納入する ・ドアクローザー 仕様 ※B.L部品(※I・I-S・II・II-D)又は同等品 ・鍵 扉1箇所につき ※3本1組 マスターキー ・作成する ・作成しない コストラクションキー装置 ・設置する ・設置しない ・フロアヒンジ ※JIS A 1510-3による ・T番(ふすまを除く) JIS A 1510-2 ・形状 平権型T番(リソング入) ・材質 ステンレス製 ・建具金物の形状、材質、寸法 ※16.7.1表による ガラス ※図示 (16.8.2) ・フロート板ガラス ・型板ガラス ・網入板ガラス ・網入型 ・網入磨き ・線入板ガラス ・線入型 ・線入磨き ・合わせガラス ・フロート合わせ ・型板合わせ ・網入り合わせ ・強化ガラス ・フロート強化 ・型板強化 ・熱線吸収ガラス 色調(・グレー ・ブルー ・ブロンズ) ・熱線吸収フロート ・熱線吸収網入(・網入磨き ・線入磨き ・網入型 ・線入型) ・減層ガラス 種類 図示 耐久性区分 ・Ⅲ類 空気層の厚さ ・6mm ・12mm 色調 ・グレー ・ブルー ・ブロンズ 透し性 ・耐久性区分 ・耐熱強化ガラス 特定防火設備認定品 ガラスのはめ込みに用いる弾性シーリング アルミニウム製 ※ガスケット(ただしFIX部はシーリング材) ・シーリング材 鋼製 ※シーリング材 ・パテ1種 ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ1種 5 ガラスブロック積 ガスケット ※防かび性なし ・防かび性あり			
		1 補強コンクリート ブロック積み (非耐力壁)		材料 ブロックの種類及び厚さ ・B種 ・100 (8.3.2) 鉄筋の種類 ※SD295A (8.2.4) 充填用、まぐさ等に使用するコンクリートの調査 8.2.2表 レディーミクストコンクリートを使用する場合の設計基準強度 上記以外の箇所に使用するコンクリートの設計基準強度 配筋 ・壁 ※8.3.2表による (8.3.3) ・まぐさ ※8.1.2図及び8.1.3図による (8.2.7) ブロック積み ブロック間のブロックの厚さ ・塙の高さが2m以下 ※120mm ・塙の高さが2mを超える ※150mm	2 在来工法 (モルタル地下工法)		施工 伸縮調整目地用シーリングの目地寸法及びシーリング材料 (11.3.3) ※幅1.0mm以上、深さ7mm以上、材料はJIS A 5758による コンクリート素地面MCR工法 ・適用する	3 直張り工法		材料 タイルの張付けモルタル ※既製調合モルタル ※既製調合モルタルの製品製造所名( )	5 ガラス	・フロート板ガラス ・型板ガラス ・網入板ガラス ・網入型 ・網入磨き ・線入板ガラス ・線入型 ・線入磨き ・合わせガラス ・フロート合わせ ・型板合わせ ・網入り合わせ ・強化ガラス ・フロート強化 ・型板強化 ・熱線吸収ガラス 色調(・グレー ・ブルー ・ブロンズ) ・熱線吸収フロート ・熱線吸収網入(・網入磨き ・線入磨き ・網入型 ・線入型) ・減層ガラス 種類 図示 耐久性区分 ・Ⅲ類 空気層の厚さ ・6mm ・12mm 色調 ・グレー ・ブルー ・ブロンズ 透し性 ・耐久性区分 ・耐熱強化ガラス 特定防火設備認定品 ガラスのはめ込みに用いる弾性シーリング アルミニウム製 ※ガスケット(ただしFIX部はシーリング材) ・シーリング材 鋼製 ※シーリング材 ・パテ1種 ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ1種 5 ガラスブロック積 ガスケット ※防かび性なし ・防かび性あり
		2 補強コンクリート ブロック積み (耐力壁)		材料 ブロック(JIS A 5406 C種普通)の厚さ ・150 (8.2.2) 充填用、まぐさ等に使用するコンクリートの調査 8.2.2表 レディーミクストコンクリートを使用する場合の設計基準強度 上記以外の箇所に使用するコンクリートの設計基準強度 鉄筋の加工及び組立 壁 ※8.3.2表による (8.2.5) まぐさ ※8.2.2図及び8.2.3表による (8.4.1) 材料 普通れんが(JIS R 1250)の種類 ※2種 工法 普通れんが積み ※半枚積み パネル(JIS A 5416)の種類	4 タイル型枠 先付け工法		材料 タイル(JIS A 5209)のきじの質、形状、寸法 (11.4.2) ・タイルシート法 ・目地ます法 ・模木法 材料 タイル(JIS A 5209)のきじの質 (11.4.3) ・磁器質 ・せっ器質(吸水率3%未満) 役物の使用 ・有 先付け面のせき板 ※B種 ・金属製タイル先付け用パネル	① 一般事項		県内産資材を優先使用しよう努めるとともに、本工事に県外産資材を使用する場合は県内産資材を使用しない理由などを「県外産資材使用報告書」に記入し、監督員に提出すること。 県産材を使用する 使用力所 ・図示 木材 構造材(JAS)の等級 ※2級 ・特一等材 (12.2.1) 見えがかりとなる構造材(JAS)の等級 ※上小節 造作材(JAS)の等級 ※上小節 樹種：県産材認証品 土台、大引・桧 他一杉 (12.2.3) 集成材 ・県産材(構造材) ・南方産樹種の製材を使用する。 (12.2.4) 床捨張り用合板 ※JIS G 3312の屋根用コイル ・JIS G 3322の屋根用コイル ・JIS G 3317 ・JIS G 3318 ・JIS K 6744のSGのA種 鋼板の厚さ ※0.4mm ・0.35mm 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 下付け釘は塗付きで、長さ19mm程度 工法 葺板、軒先包み板類の通し付け子又は通し吊子による留付け間隔 ※250mm程度 (13.2.3) 断熱材の取付け位置 ・図示する (13.2.8) 3 化粧スレート葺 及び厚形スレート葺 材料 留付け用釘 ※ステンレス製 (13.3.2) 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 工法 ・専門工事業者の仕様 (13.3.3) 4 保証書 ※引渡し日から10年間の保証書を提出する。(メーカー、施工業者、請負者連名) 材料 といその他の材種 (13.5.2) ※配管用鋼管(JIS G 3452) ・硬質塩化ビニル管(JIS K 6741) ・塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 とい受け金物 ※鋼製垂鉛めっき品により、13.4.2表及び13.4.3表による (13.5.5) 硬質塩化ビニル管といの工法 継手 ※冷間接合、接着剤固定 (13.5.3) 鋼管製といの工法 防露 ※13.5.5表による (13.5.3) 保温筒の厚さ ※20mm ・JIS A 9504又はJIS A 9511	5 ガラス	・フロート板ガラス ・型板ガラス ・網入板ガラス ・網入型 ・網入磨き ・線入板ガラス ・線入型 ・線入磨き ・合わせガラス ・フロート合わせ ・型板合わせ ・網入り合わせ ・強化ガラス ・フロート強化 ・型板強化 ・熱線吸収ガラス 色調(・グレー ・ブルー ・ブロンズ) ・熱線吸収フロート ・熱線吸収網入(・網入磨き ・線入磨き ・網入型 ・線入型) ・減層ガラス 種類 図示 耐久性区分 ・Ⅲ類 空気層の厚さ ・6mm ・12mm 色調 ・グレー ・ブルー ・ブロンズ 透し性 ・耐久性区分 ・耐熱強化ガラス 特定防火設備認定品 ガラスのはめ込みに用いる弾性シーリング アルミニウム製 ※ガスケット(ただしFIX部はシーリング材) ・シーリング材 鋼製 ※シーリング材 ・パテ1種 ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ1種 5 ガラスブロック積 ガスケット ※防かび性なし ・防かび性あり
		3 れんが積み		材料 普通れんが(JIS R 1250)の種類 ※2種 工法 普通れんが積み ※半枚積み	5 左官工事		1 一般事項	施工業者の選定 (13.1.3) 施工実績は経験年数で示す。その必要年数 ※5年とする (13.1.4) 施工一般 屋根葺き材、断熱材、防水立ち上がり等の納まり ※図示する 雪止めの材料及び工法 ( ) ・図示する 材料 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ※JIS G 3312の屋根用コイル ・JIS G 3322の屋根用コイル ・JIS G 3317 ・JIS G 3318 ・JIS K 6744のSGのA種 鋼板の厚さ ※0.4mm ・0.35mm 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 下付け釘は塗付きで、長さ19mm程度 工法 葺板、軒先包み板類の通し付け子又は通し吊子による留付け間隔 ※250mm程度 (13.2.3) 断熱材の取付け位置 ・図示する (13.2.8) 3 化粧スレート葺 及び厚形スレート葺 材料 留付け用釘 ※ステンレス製 (13.3.2) 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 工法 ・専門工事業者の仕様 (13.3.3) 4 保証書 ※引渡し日から10年間の保証書を提出する。(メーカー、施工業者、請負者連名) 材料 といその他の材種 (13.5.2) ※配管用鋼管(JIS G 3452) ・硬質塩化ビニル管(JIS K 6741) ・塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 とい受け金物 ※鋼製垂鉛めっき品により、13.4.2表及び13.4.3表による (13.5.5) 硬質塩化ビニル管といの工法 継手 ※冷間接合、接着剤固定 (13.5.3) 鋼管製といの工法 防露 ※13.5.5表による (13.5.3) 保温筒の厚さ ※20mm ・JIS A 9504又はJIS A 9511		17 塗装工事	1 合成樹脂調合 ペイント塗り 2 クリヤラッカー 塗り 3 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り 4 オイルステイン塗り オイルステイン ワニス塗り 5 ウレタン樹脂 ワニス塗り 6 高耐久性塗料 7 保証書 8 水性木材着色 保護塗装 9 フッ素樹脂 エナメル塗り (FUE) 10 ワックス	塗り工程 ・17.4.1表 ・17.4.2表 ・17.4.3表 (17.4.1) 塗り工程 種別 ※B種 (17.5.1) ・A種(目止めと着色を兼用する場合) 塗り工程 ・17.6.1表 (17.6.1) セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる (17.7.1) 塗り工程 ・17.7.1表 塗り工程 ・1液形油変形ポリウレタンワニス塗り(17.8.1表) (17.8.1) 目止め、着色、着色目止め、行う ・2液形ポリウレタンワニス塗り (17.8.2表) 目止め、着色、着色目止め、行う 材料 JIS K 5658(建築用フッ素樹脂塗料) 工法 ・塗り工程 施工業者 ※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する塗装業者 保証書 ※引渡し日から3年間の保証書(塗装業者、請負者連名)を提出する。 自然素材を使用した塗料(F☆☆☆☆)塗りとし、メーカーの責任施工とする。 塗り工程 ・18.11.2表(公共建築工事標準仕様書)
	4 ALCパネル	パネル(JIS A 5416)の種類	6 左官工事	2 長尺金属板葺	防火戸 1 防火戸 2 金属製建具 【住宅用ワッッシュ】 建具表による 玄関ドア 【耐風圧性能】 S-2 【機密性能】 A-3 アルミサッシ 【耐風圧性能】 S-3 【機密性能】 A-4 【水密性能】 W-4		※建築基準法に基づく認定を受けたものとする。 (16.1.3) ・玄関ドア 仕様 ※B.L部品(※B型 ・A型)又はB.L部品に準ずる。 断熱 ※有(・S型 ・1型 ・2型 ・3型 4型) 身体障害者向け付戸のドア下の隙間処理 ・パイプシャフトドア 材質、仕上、形状、寸法 ・アルミ普通サッシ(・シルバー ・カラナ 仕様 ※B.L部品B型(※200型 ・280型)又はB.L部品に準ずる。 ・アルミ防音サッシ(・ ) 仕様 ※B.L部品C型(※280型 )又は同等品 ・アルミ断熱型サッシ(・シルバー ) 仕様 ※B.L部品又はB.L部品に準ずる。 断熱 ※有(・S型 ・1型 ・2型 ・3型 ・4型) ・出窓ユニット 材質、仕上、形状、寸法 ・ステンレスサッシ 材質、仕上、形状、寸法 ・シャッター 材質、仕上、形状、寸法 ・鋼製建具 材質、仕上 ・スチール、形状、寸法 ・図示 ・特記外は公共建築工事標準仕様書16.3.1~16.3.6による。 待周囲モルタル詰 構造スリットと取り合う場所はモルタル詰めとする。 3 木製建具、その他 【住宅用既製建具】 建具表による 内装ドア(・リフ ・ユニット(枠付き)) 形状、寸法、表面仕上げ、色彩等は図示による ・クロゼットドア 材質、形状、寸法、仕上げ等は図示による ・紙張り障子 (16.6.6) 用材樹種 ※スプルス良材 ・杉 上下棧、縦かまち及び組子の形状並びに組子の本数 ※図示による(建具表)	17 塗装工事		1 合成樹脂調合 ペイント塗り 2 クリヤラッカー 塗り 3 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り 4 オイルステイン塗り オイルステイン ワニス塗り 5 ウレタン樹脂 ワニス塗り 6 高耐久性塗料 7 保証書 8 水性木材着色 保護塗装 9 フッ素樹脂 エナメル塗り (FUE) 10 ワックス	塗り工程 ・17.4.1表 ・17.4.2表 ・17.4.3表 (17.4.1) 塗り工程 種別 ※B種 (17.5.1) ・A種(目止めと着色を兼用する場合) 塗り工程 ・17.6.1表 (17.6.1) セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる (17.7.1) 塗り工程 ・17.7.1表 塗り工程 ・1液形油変形ポリウレタンワニス塗り(17.8.1表) (17.8.1) 目止め、着色、着色目止め、行う ・2液形ポリウレタンワニス塗り (17.8.2表) 目止め、着色、着色目止め、行う 材料 JIS K 5658(建築用フッ素樹脂塗料) 工法 ・塗り工程 施工業者 ※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する塗装業者 保証書 ※引渡し日から3年間の保証書(塗装業者、請負者連名)を提出する。 自然素材を使用した塗料(F☆☆☆☆)塗りとし、メーカーの責任施工とする。 塗り工程 ・18.11.2表(公共建築工事標準仕様書)	
	9 防水工事	1 一般事項 2 屋根アスファルト 防水	12 木工事	3 化粧スレート葺 及び厚形スレート葺	16 建具・ガラス工事		1 防火戸 2 金属製建具 【住宅用ワッッシュ】 建具表による 玄関ドア 【耐風圧性能】 S-2 【機密性能】 A-3 アルミサッシ 【耐風圧性能】 S-3 【機密性能】 A-4 【水密性能】 W-4	1 合成樹脂調合 ペイント塗り 2 クリヤラッカー 塗り 3 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り 4 オイルステイン塗り オイルステイン ワニス塗り 5 ウレタン樹脂 ワニス塗り 6 高耐久性塗料 7 保証書 8 水性木材着色 保護塗装 9 フッ素樹脂 エナメル塗り (FUE) 10 ワックス		塗り工程 ・17.4.1表 ・17.4.2表 ・17.4.3表 (17.4.1) 塗り工程 種別 ※B種 (17.5.1) ・A種(目止めと着色を兼用する場合) 塗り工程 ・17.6.1表 (17.6.1) セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる (17.7.1) 塗り工程 ・17.7.1表 塗り工程 ・1液形油変形ポリウレタンワニス塗り(17.8.1表) (17.8.1) 目止め、着色、着色目止め、行う ・2液形ポリウレタンワニス塗り (17.8.2表) 目止め、着色、着色目止め、行う 材料 JIS K 5658(建築用フッ素樹脂塗料) 工法 ・塗り工程 施工業者 ※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する塗装業者 保証書 ※引渡し日から3年間の保証書(塗装業者、請負者連名)を提出する。 自然素材を使用した塗料(F☆☆☆☆)塗りとし、メーカーの責任施工とする。 塗り工程 ・18.11.2表(公共建築工事標準仕様書)		
	10 保証書 (シーリングを除く)	11 無機質浸透性 塗布防水	13 屋根及び びと工事	4 保証書 5 とい	16 建具・ガラス工事		1 防火戸 2 金属製建具 【住宅用ワッッシュ】 建具表による 玄関ドア 【耐風圧性能】 S-2 【機密性能】 A-3 アルミサッシ 【耐風圧性能】 S-3 【機密性能】 A-4 【水密性能】 W-4	1 合成樹脂調合 ペイント塗り 2 クリヤラッカー 塗り 3 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り 4 オイルステイン塗り オイルステイン ワニス塗り 5 ウレタン樹脂 ワニス塗り 6 高耐久性塗料 7 保証書 8 水性木材着色 保護塗装 9 フッ素樹脂 エナメル塗り (FUE) 10 ワックス		塗り工程 ・17.4.1表 ・17.4.2表 ・17.4.3表 (17.4.1) 塗り工程 種別 ※B種 (17.5.1) ・A種(目止めと着色を兼用する場合) 塗り工程 ・17.6.1表 (17.6.1) セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる (17.7.1) 塗り工程 ・17.7.1表 塗り工程 ・1液形油変形ポリウレタンワニス塗り(17.8.1表) (17.8.1) 目止め、着色、着色目止め、行う ・2液形ポリウレタンワニス塗り (17.8.2表) 目止め、着色、着色目止め、行う 材料 JIS K 5658(建築用フッ素樹脂塗料) 工法 ・塗り工程 施工業者 ※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する塗装業者 保証書 ※引渡し日から3年間の保証書(塗装業者、請負者連名)を提出する。 自然素材を使用した塗料(F☆☆☆☆)塗りとし、メーカーの責任施工とする。 塗り工程 ・18.11.2表(公共建築工事標準仕様書)		
	11 無機質浸透性 塗布防水	12 水膨張性止水シール	14 金属工事	① 表面処理	16 建具・ガラス工事		1 防火戸 2 金属製建具 【住宅用ワッッシュ】 建具表による 玄関ドア 【耐風圧性能】 S-2 【機密性能】 A-3 アルミサッシ 【耐風圧性能】 S-3 【機密性能】 A-4 【水密性能】 W-4	1 合成樹脂調合 ペイント塗り 2 クリヤラッカー 塗り 3 合成樹脂エマルジョン ペイント塗り 4 オイルステイン塗り オイルステイン ワニス塗り 5 ウレタン樹脂 ワニス塗り 6 高耐久性塗料 7 保証書 8 水性木材着色 保護塗装 9 フッ素樹脂 エナメル塗り (FUE) 10 ワックス		塗り工程 ・17.4.1表 ・17.4.2表 ・17.4.3表 (17.4.1) 塗り工程 種別 ※B種 (17.5.1) ・A種(目止めと着色を兼用する場合) 塗り工程 ・17.6.1表 (17.6.1) セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる (17.7.1) 塗り工程 ・17.7.1表 塗り工程 ・1液形油変形ポリウレタンワニス塗り(17.8.1表) (17.8.1) 目止め、着色、着色目止め、行う ・2液形ポリウレタンワニス塗り (17.8.2表) 目止め、着色、着色目止め、行う 材料 JIS K 5658(建築用フッ素樹脂塗料) 工法 ・塗り工程 施工業者 ※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する塗装業者 保証書 ※引渡し日から3年間の保証書(塗装業者、請負者連名)を提出する。 自然素材を使用した塗料(F☆☆☆☆)塗りとし、メーカーの責任施工とする。 塗り工程 ・18.11.2表(公共建築工事標準仕様書)		

<p>5 マスチック塗材 (MR) ローラー塗り</p> <p>材料 製造所名 ( ) 種別及び仕上げ (18. 5. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・凹凸模様</td> <td>・G・P (エマルジョン形)</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・凸部押さえ模様</td> <td>・アクリル樹脂エナメル (溶剤系形)</td> </tr> <tr> <td>・セダム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※凹凸模様</td> <td>・G・P (エマルジョン形)</td> </tr> <tr> <td>・ソラン</td> <td>※凹凸模様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アルト</td> <td>※凹凸模様</td> <td>・ウレタン樹脂クリヤー (溶剤形)</td> </tr> </table>	種別	仕上げ	備考	・A種	・凹凸模様	・G・P (エマルジョン形)	・C種	・凸部押さえ模様	・アクリル樹脂エナメル (溶剤系形)	・セダム			・B種	※凹凸模様	・G・P (エマルジョン形)	・ソラン	※凹凸模様		・アルト	※凹凸模様	・ウレタン樹脂クリヤー (溶剤形)	<p>12 断熱・防露工事 (つづき)</p> <p>発泡プラスチック保温材の種類 ※押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b (19. 11. 3)</p> <p>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板特号</p> <p>・鉄骨躯体部分の防露 ロックウール吹付 ・厚さ 10</p> <p>13 内装プレハブ工法</p> <p>内装プレハブ工法 ・適用する ・適用箇所 (19. 12. 1)</p> <p>鋼板の表面処理 ※JIS H 8610 (電気亜鉛メッキ) ・ (19. 12. 3)</p> <p>組み立て工法 製造所 ( ) の仕様による (19. 12. 4)</p> <p>14 単板壁羽目板</p> <p>材料 ※内装壁壁、厚さ12 長野県産唐松板縦張り (本実加工) (県産材：信州木材認証センターで認証した製品又は同等品とする)</p> <p>キッチン廻りに使用する専用の化粧ケイカル板 (不燃材) とする。</p> <p>15 化粧ケイカル板</p> <p>目地はシーリング (防カビシリコン系) 周囲取り合いは木製見付25見切りとする。</p>	<p>22 排水工事</p> <table border="1"> <tr> <th>排水管の種類</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・透心力鉄筋コンクリート管</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・下水道用硬質塩化ビニル管</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・その他 他有孔PVC管</td> <td>図示</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>排水装置の種類</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・錆鉄製</td> <td>・格子蓋</td> <td>・T-2</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート蓋</td> <td>・防水型</td> <td>・T-5</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・鋼性グレーチング蓋</td> <td>※受け枠付</td> <td>・T-2 ・T-6 ・T-14 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・鋳目</td> <td></td> </tr> </table> <p>砂基礎の砂質 ・山砂 (22. 2. 1)</p> <p>硬質塩化ビニル管の継手 (22. 3. 3)</p> <p>※冷間接合 ・溶着接合 ・ゴムリング接合</p> <p>陶管の継手</p> <p>※圧接ジョイント工法</p> <p>雨水樋、汚水樋、根ふた ・図示による</p> <p>マンホール足かけ金物の材料及び位置 ・図示による</p> <p>材料 ・ 図示</p> <p>(鉄筋コンクリート既成側溝に砂り入れとし屋根の雨水を受け流す)</p> <p>2 管渠工</p> <p>2 雨水排水施設工</p> <p>材料、形状、寸法 ※図示 (22. 4. 1)</p>	排水管の種類	使用箇所	・透心力鉄筋コンクリート管	図示	・下水道用硬質塩化ビニル管	図示	・その他 他有孔PVC管	図示	排水装置の種類	形式	備考	・錆鉄製	・格子蓋	・T-2	・コンクリート蓋	・防水型	・T-5	・	・	・	・鋼性グレーチング蓋	※受け枠付	・T-2 ・T-6 ・T-14 ・図示	・	・鋳目		<p>24 植栽工事</p> <p>1 高木植栽工</p> <p>樹高の上限 ※設けない ・設ける ( ) (24. 3. 2)</p> <p>丸太支柱材の防露処理 ・ 防露材塗り ・ JIS A 9002加圧注入処理</p> <p>パイプ支柱材の規格等 ※JIS G 3452 (配管用炭素鋼鋼管)</p> <p>客土の種類 ・ 畑土 ※黒土 ・ 真砂土 ・ 山砂</p> <p>樹名札 ・ (24. 3. 2)</p> <p>2 地被類植栽工 播種工</p> <p>草本類、つる性類 発芽率 ・ かん水 ・ (24. 4. 5)</p> <p>リュウノヒゲ、ささ類の種類 ・ ポット栽培品 ・</p> <p>コウライシバ類 切芝 ・ ロール芝</p> <p>客土及び目土の種類 ・ 畑土 ※黒土 ・ 借り土 (24. 4. 2)</p> <p>3 播種工</p> <p>種の種類 ・</p> <p>人工種子生産 種類 ・ 品質 ・</p> <p>※引渡し日から1年間の保証書 (施工業者、請負業者連名) を提出する。</p> <p>4 保証書</p>																																																											
種別	仕上げ	備考																																																																																																											
・A種	・凹凸模様	・G・P (エマルジョン形)																																																																																																											
・C種	・凸部押さえ模様	・アクリル樹脂エナメル (溶剤系形)																																																																																																											
・セダム																																																																																																													
・B種	※凹凸模様	・G・P (エマルジョン形)																																																																																																											
・ソラン	※凹凸模様																																																																																																												
・アルト	※凹凸模様	・ウレタン樹脂クリヤー (溶剤形)																																																																																																											
排水管の種類	使用箇所																																																																																																												
・透心力鉄筋コンクリート管	図示																																																																																																												
・下水道用硬質塩化ビニル管	図示																																																																																																												
・その他 他有孔PVC管	図示																																																																																																												
排水装置の種類	形式	備考																																																																																																											
・錆鉄製	・格子蓋	・T-2																																																																																																											
・コンクリート蓋	・防水型	・T-5																																																																																																											
・	・	・																																																																																																											
・鋼性グレーチング蓋	※受け枠付	・T-2 ・T-6 ・T-14 ・図示																																																																																																											
・	・鋳目																																																																																																												
<p>19 内装工事</p> <p>1 一般事項</p> <p>床下地材の適用区分 ※特記なき限り 19. 2. 1表又は19. 3. 1表 (19. 2. 1又は19. 3. 1)</p> <p>2 床下パネル</p> <p>寸法 ※ 600×900mm</p> <p>厚さ ※ 発泡 (洋) 床仕上げ高 100~140mm</p> <p>※ 発泡 (和) 床仕上げ高 102~143mm</p> <p>3 乾式造音二重床工法用床下地材</p> <p>水がかりの範囲 ※ 19. 1. 3による (19. 3. 1)</p> <p>パーティクルボード、捨張り合板の厚さ ※ 19. 3. 2表</p> <p>4 天然木化粧複合フローリング張り</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>樹種</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・ぶな</td> <td>・接着剤併用釘止め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・なら</td> <td>・釘止め工法</td> <td>※2液形ポリウレタンワニス</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・にれ</td> <td>・接着工法</td> <td>3回塗り</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>・唐松</td> <td>・特殊工法</td> <td>・塗装品 (WPC加工同等品)</td> </tr> </table> <p>材料 ・ 既成品</p> <p>5 畳敷き</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 ・ E種 (19. 5. 1)</p> <p>防虫加工紙 ・ 監督員の承諾による</p> <p>6 ビニル床シート張り</p> <p>種別 ・ 発泡層のあるビニル床シート ( ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種) (19. 6. 1)</p> <p>※発泡層のないビニル床シート ( ・ 4種 ・ 5種 ※ 6種)</p> <p>4種、6種のエンボス加工 ( ・ 有 ・ 無)</p> <p>工法 熱溶接工法 ・ 適用する (19. 6. 2)</p> <p>7 ビニル床タイル</p> <p>種別 ※ホモジニアスビニル床タイル、半硬質ビニル床タイル (19. 7. 1)</p> <p>・硬質ビニル床タイル</p> <p>厚さ ※2. 0mm</p> <p>ビニル幅木 厚さ ※2. 0mm</p> <p>高さ ※60mm ・ 75mm ・ 100mm</p> <p>8 合成樹脂塗り床</p> <p>・弾性ウレタン塗り床材 ・ 防塵塗装 (19. 8. 1)</p> <p>塗厚 ※2. 0mm ・ 1. 5mm</p> <p>仕上げ ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>9 カーペット敷き</p> <p>カーペットの種類 ・ 品質 ・ 形状</p> <p>敷込工法</p> <p>10 石膏ボード、その他のボード及び合板張り</p> <p>普通合板樹種 ・ 珧 ・ 国内産樹種 ・ しな (19. 9. 1)</p> <p>特殊加工合板 材料 ・ 和室天井に使用する</p> <p>合板合板及び裏材木の防虫処理方法</p> <p>難燃合板 樹種 ・ 南方産樹種製材 (生地のまま又は透明塗料塗り) ・ しな (不透明塗料塗り) ・</p> <p>止付け方法 (化粧せっこうボード) ※ 止付け釘等 ステンレス</p> <p>接着剤 JIS A 5538 種別 19. 9. 3表</p> <p>合板類の張付け ・ A類 ※B類 (19. 9. 2)</p> <p>せっこうボードの継目処理工法</p> <table border="1"> <tr> <th>目地処理の種類</th> <th>石膏ボードのジョイントの種類</th> </tr> <tr> <td>・目渡し工法</td> <td>スクウェアエッジ</td> </tr> <tr> <td>・突付け工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・突付け目地工法</td> <td>ベベルエッジ</td> </tr> <tr> <td>・継目処理工法</td> <td>テーパエッジ</td> </tr> </table> <p>・仕上げにおいて、AEP仕上げ及び直張り仕上げの場合は、3×8版を使用すること。</p> <p>11 壁紙張り</p> <p>壁紙 JIS A6921 品質 ・ 防火性能 ・ (19. 10. 1)</p> <p>接着剤 ※酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形とJIS A 6922 (壁紙施工用でん粉系接着剤) を混ぜたもの ・</p> <p>12 断熱・防露工事</p> <p>壁断熱 ※内断熱工法 ・ 外断熱工法 (19. 11. 1) (19. 11. 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部分</th> <th>材 料</th> <th>種 別</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>天井 (最上層)</td> <td>・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ フォーム保温板 ・ グラスウール10K</td> <td></td> <td>100 (防湿処理)</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ ビーズ法発泡ポリスチレンボード ・ A種押出法* リソフォーム保温板</td> <td>3種 b</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>床 (1階土間) 床 (1階スラブ)</td> <td>・ 硬質ウレタン保温板 ・ A種押出法* リソフォーム保温板</td> <td>1種 b</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>開口部廻り充填</td> <td>・ 現場発泡ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱橋部断熱補強</td> <td>・ ビーズ法* リソフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム</td> <td></td> <td>20 (幅600) 20 (幅600)</td> </tr> <tr> <td>グラスウール部分の防湿措置は防湿シート敷きとする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	樹種	工法	備考	・A種	・ぶな	・接着剤併用釘止め工法		・B種	・なら	・釘止め工法	※2液形ポリウレタンワニス	・C種	・にれ	・接着工法	3回塗り	・D種	・唐松	・特殊工法	・塗装品 (WPC加工同等品)	目地処理の種類	石膏ボードのジョイントの種類	・目渡し工法	スクウェアエッジ	・突付け工法		・突付け目地工法	ベベルエッジ	・継目処理工法	テーパエッジ	施工部分	材 料	種 別	厚さ (mm)	天井 (最上層)	・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ フォーム保温板 ・ グラスウール10K		100 (防湿処理)	外壁	・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ ビーズ法発泡ポリスチレンボード ・ A種押出法* リソフォーム保温板	3種 b	30	床 (1階土間) 床 (1階スラブ)	・ 硬質ウレタン保温板 ・ A種押出法* リソフォーム保温板	1種 b	50	開口部廻り充填	・ 現場発泡ウレタンフォーム			熱橋部断熱補強	・ ビーズ法* リソフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム		20 (幅600) 20 (幅600)	グラスウール部分の防湿措置は防湿シート敷きとする。				<p>20 部品・その他工事</p> <p>1 浴室ユニット</p> <p>仕様 ・ B L部品 ( ・ 一般型 A型 ・ 一般型 B型 ・ 高齢者対応型) (20. 2. 2)</p> <p>・ B L同等品 (床フラットタイプ)</p> <p>・ その他 (リフォーム用)</p> <p>種類 ・ A型 ・ B型 (リフォーム用)</p> <p>ユニット ・ 1216型 ・ 1618型 ・ その他 (特寸)</p> <p>手摺設置箇所 ・ 浴室出入り ・ 浴槽端部 ・ 浴槽内 ・ 洗い場</p> <p>付属品 ・ 天井点検口 ・ シワ金具 ・ 排水掛 ・ 防湿型照明 ・ 耐水鏡 ・ シワ付混合水栓 ・ 折れ戸</p> <p>2 収納ユニット</p> <p>仕様 ・ B L部品 ( ・ 一般型 ・ 長寿対応 A型 ・ 長寿対応 B型) (20. 2. 3)</p> <p>・ B L同等品 ・ 高齢者対応型 (20K-2)</p> <p>種類 ・ セット収納型 I型 ・ セット収納型 II型 ・ システム</p> <p>形状、寸法 (mm)</p> <p>流し台 間口 ( ・ 1200 ※1500 ・ 2100) 高さ (※800 ・ 850)</p> <p>奥行 ( ・ 550 ※600) シンク (※シンク付 ・ シンク付)</p> <p>コンロ台 間口 (※600 ・ 700) 高さ (※620 ・ 670)</p> <p>奥行 (※600 ・ 550) パネル付 ( ※有 ・ 無)</p> <p>調理台 間口 ( ・ 300 ・ 600 ・ 隅用) 高さ (※800 ・ 850)</p> <p>奥行 ( ・ 550 ※600)</p> <p>吊戸棚 間口 ( ・ 300 ・ 700 ・ 900 ※1200 ・ 隅用) 高さ (※500 ・ 700 ・ 1000) 奥行 (※350)</p> <p>カクテルボックス ( ・ 一体型 ※分割型)</p> <p>カクテルボックス材料及び材料 ※スチール (※SUS304 ・ SUS403)</p> <p>・ 錆鉄ホロー ・ アルミ合金 ・ 化粧板 ・ 合成樹脂成形品</p> <p>付属品 ※水切り網 (※ステンレス) ・ レンジフード</p> <p>3 収納ユニット</p> <p>※キッチンキャビネットに準ずる</p> <p>4 収納ユニット</p> <p>・ 適用する</p> <p>5 手摺ユニット (落下防止用)</p> <p>仕様 ※B L部品又は同等品 (20. 2. 5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>形状、寸法</th> <th>支持方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>6 手摺ユニット (補助手摺)</p> <p>仕様 ※B L部品又は同等品 (20. 2. 6)</p> <p>①上記以外 (B L認定メーカーの部品、材料及び規格はB L規格)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7 郵便受箱</p> <p>仕様 ※B L部品 ( ・ A型 ※AM型 ・ B型 戸用) (20. 2. 4)</p> <p>又は同等品 ・ 図示 (36戸用)</p> <p>形状、寸法 ※監督員の指示による (ダイヤル装 ルームナンバー表示)</p> <p>8 収納用ハンコ段</p> <p>仕様 ・ 避難ハッチ ・ 図示</p> <p>9 スリーブ</p> <p>材質 ※6. 8. 2表による ・ 鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 ・ 亜鉛鉄板</p> <p>・ つば付き鋼管 ・ 紙チューブ (6. 8. 3)</p> <p>10 丸環</p> <p>材質 ※ステンレス製 S U S 304</p> <p>11 EXP. J</p> <p>材質 ※ステンレス製 ・ アルミ製</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>12 笠木</p> <p>材質 ※アルミ製</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>13 ビット点検口</p> <p>材質 ※ステンレス製 600角 充填仕様 錠付 (6ヶ所)</p> <p>14 室名札</p> <p>材質 ・ アクリル板 厚 4. 0 80×200 (住戸番号入り) 玄関ドアに接着</p> <p>15 掲示板</p> <p>材質 ※アルミ製</p>	種類	材質	形状、寸法	支持方法																					種類	仕様											<p>23 舗装工事</p> <p>1 地盤改良工</p> <p>県内産資材を優先使用するよう努めるとともに、本工事に県外産資材を使用する場合は県内産資材を使用しない理由などを別紙「県外産資材使用報告書」に記入し、監督員に提出すること。</p> <p>安定材の量 ・ C B R値 ・ (2. 3. 2. 2)</p> <p>置換工の材料 ・ 敷均しの仕上げが厚さ ・</p> <p>※凍上抑制層の整正を行うこと。 (図示)</p> <p>2 路盤工</p> <p>県内産資材を優先使用するよう努めるとともに、本工事に県外産資材を使用する場合は県内産資材を使用しない理由などを別紙「県外産資材使用報告書」に記入し、監督員に提出すること。</p> <p>路盤材料の種類 ※ 再生クラッシュラン (RC-40) (2. 3. 3. 3)</p> <p>・ クラッシュラン (C-40)</p> <p>・ 粒砕砕石</p> <p>3 アスファルト舗装</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (2. 3. 4. 1)</p> <p>・ 表層 ・ 密粒度7777混合 (1. 3 F) ・ 細粒度7777混合 (1. 3)</p> <p>※細粒度7777混合 (1. 3 F) ・ 細粒度7777混合 (1. 3 F)</p> <p>・ 基層 ※細粒度7777混合 (2. 0)</p> <p>シーラコート ・ 行う ※行わない ・ 締固め試験 ・ 行う</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※行わない</p> <p>・ 再生アスファルト30%</p> <p>4 透水アスファルト舗装</p> <p>路盤材料の種類 ・ 図示 (2. 3. 7. 1)</p> <p>5 インターロックブロック舗装</p> <p>種類 ※普通 ・ 透水性 ・ 補生用 ・ その他 ( ) (2. 3. 9. 1)</p> <p>形状 300×300</p> <p>厚さ ・ 60mm ・ 80mm 色彩 ・ 標準カラー</p> <p>工法 ( ・ 透水性 ・ 補生用) ・</p> <p>ブロック敷設パターン ・ 単色 ・ 2色混合 ・ 3色混合</p> <p>6 コンクリート舗装</p> <p>早強セメント ・ 使用する ※使用しない (2. 3. 5. 1)</p> <p>7 平板舗装</p> <p>種類及び規格 ・ 平板 ・ 人研平板 ・ 洗出平板 ・ その他 (エコ平板) (2. 3. 9. 1)</p> <p>伸縮目地 ・ 表層安定材</p> <p>表層安定剤 ・ 塩化マグネシウム又は塩化カルシウム (2. 3. 10. 2)</p> <p>8 土系園路工</p> <p>化粧目地 ・ (2. 3. 10. 4)</p> <p>伸縮調整目地 ※目地に囲まれた1区画が10 m2以下</p> <p>材料 ・ 寸法 ・ (2. 3. 10. 3)</p> <p>形状 ・ 色彩 ・</p> <p>化粧目地 ・</p> <p>伸縮調整目地 ※目地に囲まれた1区画が10 m2以下</p> <p>9 れんが舗装</p> <p>砂利の種類 (2. 3. 10. 5)</p> <p>小礫石の産地</p> <p>青石の厚さ及び表面積</p> <p>12 側溝工</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>形状及び寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>設置場所、蓋材の種類は図示による</p> <p>※側溝底版コンクリート打ちとする</p> <p>13 縁石工</p> <p>J I S の規格にない材料を使用する場合の品質 ・ 図示による (2. 2. 4. 2)</p> <p>地先境界ブロック ※面取りする</p> <p>14 車止め</p> <p>※コンクリート二次製品 (既製品) ・ 図示</p> <p>接着剤併用の上、アンカー (S U S 304) で下地に固定する。</p> <p>15 路面表示 (区画線等)</p> <p>駐車場等は、図示により路面表示を行う。</p> <p>・ J I S K 5 6 6 5 1種2号 常温式 (ペイント式) 幅150 白色</p> <p>・ J I S K 5 6 6 5 3種1号 溶融式 幅150 白色</p>	種 別	形状及び寸法											<p>27 工事現場の環境改善及び建設副産物の処理</p> <p>① 工事現場の環境改善</p> <p>1 工事現場のイメージアップ</p> <p>・ 仮囲い周辺の美化 ( )</p> <p>2 地域住民への情報提供</p> <p>・ 完成予想図の設置 ( )</p> <p>② 工事経過説明板等各種情報掲示板の設置 ( )</p> <p>・ パンフレットの作成 ・ 配布 ( )</p> <p>3 住民に対する災害防止関係</p> <p>・ 住民に対する災害防止策の実施 ( )</p> <p>1 複数のコンテナを設ける等、廃棄物の種類別に徹底した分別を行うこと。</p> <p>2 産業廃棄物を委託処理する場合は、収集運搬業者及び処分業者とそれぞれ委託契約をすること。</p> <p>3 委託契約書の書式は、(社)日本建設業団体連合会以下9団体により共同作成された「建設廃棄物処理委託基本契約書」によること。</p> <p>4 産業廃棄物管理表 (マニフェスト) に必要な事項を記入し、運搬車両ごとに廃棄物とともに収集運搬業者に渡すこと。</p> <p>5 マニフェスト (A. B2. D. E) はその都度又は処分終了後10日以内に返送を受け照合・確認のうえ5年間保存すること。</p> <p>③ 再生資源の利用促進</p> <p>1 再生資源利用促進計画書、実施報告書を提出すること。</p> <p>2 再生資源利用計画書、実施報告書を提出すること。</p> <p>3 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による届出を行うこと。</p> <p>28 その他</p> <p>① 保険等</p> <p>1 請負者は、本工事の工率目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。また、保険加入期間は引渡 (概ね契約工事完了日+1ヶ月) までとし、全保険料金を支払いの上その写しを県工事契約業務担当者まで提出すること。</p> <p>なお、加入期間の開始を契約後1ヶ月以上遅らせる場合は、監督員に協議すること。</p> <p>2 工事期間中、請負者の責任と負担により、労災保険に加入すること。</p> <p>② その他</p> <p>1 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。</p> <p>2 工事の請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報 (工事カルテ) の登録をすること。</p> <p>登録する場合は、内容について監督職員の承諾を受けた後、次に示す期間内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督員に提出すること。</p> <p>なお変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。</p> <p>(1) 工事受注時 契約締結後10日以内</p> <p>(2) 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内</p> <p>(3) 工事完了時 工事完了後10日以内</p> <p>3 施工体制台帳を整備するとともに契約書 (写) を添付し提出すること。</p> <p>4 施工にあたっては、低騒音、低振動型施工機械の採用に努めること。</p> <p>5 請負者は、工事用資材の調達に当たっては、極力県内の取扱業者から購入すること。</p> <p>6 「特定住宅性能担保責任の履行の確保等に関する法律」 (平成19年法律第66号) に基づき、資力確保の措置を行うこと。</p> <p>7 環境への配慮</p> <p>・ 当工事は「長野県公共事業等環境配慮制度」の適用工事とする。</p> <p>・ 当工事は「建設部公共事業環境配慮指針」の適用工事とする。</p> <p>8 防湿処理</p> <p>・ (社)日本しろあり対策協会準仕様</p> <p>・ 対象場所：1階床下 土壌処理</p> <p>アスベスト含有成形板の除去 (レベル3)</p> <p>・ 行う (建築物解体工事共通仕様書による)</p> <p>3 残存アスベスト含有成形板の除去 (レベル3)</p>
種別	樹種	工法	備考																																																																																																										
・A種	・ぶな	・接着剤併用釘止め工法																																																																																																											
・B種	・なら	・釘止め工法	※2液形ポリウレタンワニス																																																																																																										
・C種	・にれ	・接着工法	3回塗り																																																																																																										
・D種	・唐松	・特殊工法	・塗装品 (WPC加工同等品)																																																																																																										
目地処理の種類	石膏ボードのジョイントの種類																																																																																																												
・目渡し工法	スクウェアエッジ																																																																																																												
・突付け工法																																																																																																													
・突付け目地工法	ベベルエッジ																																																																																																												
・継目処理工法	テーパエッジ																																																																																																												
施工部分	材 料	種 別	厚さ (mm)																																																																																																										
天井 (最上層)	・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ フォーム保温板 ・ グラスウール10K		100 (防湿処理)																																																																																																										
外壁	・ 硬質ウレタン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ ビーズ法発泡ポリスチレンボード ・ A種押出法* リソフォーム保温板	3種 b	30																																																																																																										
床 (1階土間) 床 (1階スラブ)	・ 硬質ウレタン保温板 ・ A種押出法* リソフォーム保温板	1種 b	50																																																																																																										
開口部廻り充填	・ 現場発泡ウレタンフォーム																																																																																																												
熱橋部断熱補強	・ ビーズ法* リソフォーム ・ 発泡ポリスチレン保温板 ・ 現場発泡ウレタンフォーム		20 (幅600) 20 (幅600)																																																																																																										
グラスウール部分の防湿措置は防湿シート敷きとする。																																																																																																													
種類	材質	形状、寸法	支持方法																																																																																																										
種類	仕様																																																																																																												
種 別	形状及び寸法																																																																																																												





三日町保育園  
配置図 S=1:200

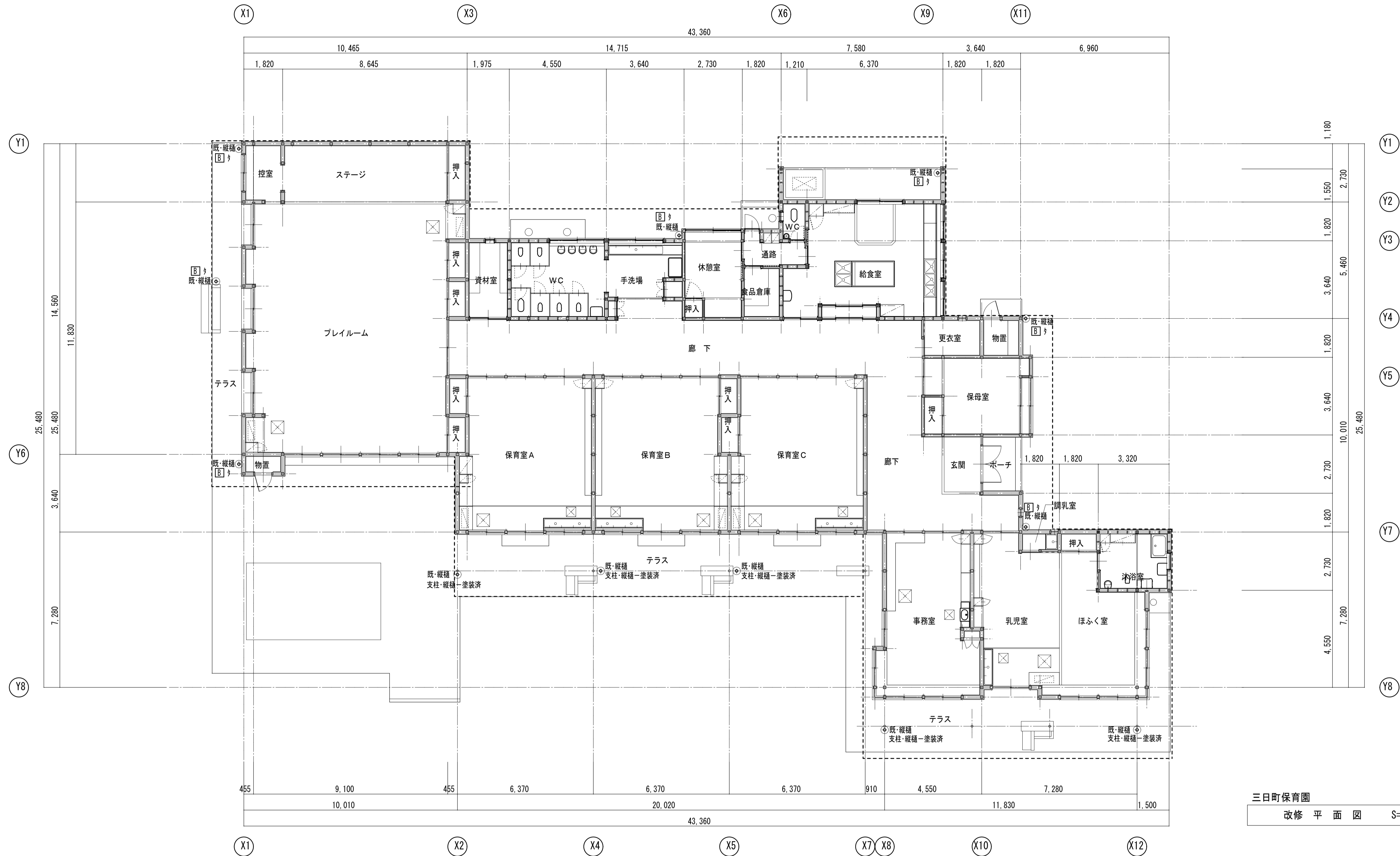
敷地面積	3,181.36	m <sup>2</sup>
------	----------	----------------

敷地全体面積

	申請部分	申請以外の部分	合計	建ぺい率・容積率
建築面積	( = m <sup>2</sup> 坪 )	( = m <sup>2</sup> 坪 )	( = 944.42 m <sup>2</sup> 坪 )	28.69 % ≦ 許容 60 %
延床面積	( = m <sup>2</sup> 坪 )	( = m <sup>2</sup> 坪 )	( = 810.87 m <sup>2</sup> 坪 )	対象面積 m <sup>2</sup> 25.49 % ≦ 許容 200 %

建物床面積

建築面積	階別	床面積		計
		申請部分	申請以外の部分	
申請	1 保育園舎			
687.25 m <sup>2</sup>	1 階	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	593.45 m <sup>2</sup>
	2 倉庫-1			
9.72 m <sup>2</sup>	1 階		m <sup>2</sup>	9.72 m <sup>2</sup>
	3 倉庫-2			
8.96 m <sup>2</sup>	1 階		m <sup>2</sup>	8.96 m <sup>2</sup>
	4 芝草園			
238.49 m <sup>2</sup>	1 階		m <sup>2</sup>	198.74 m <sup>2</sup>
	合計			
944.42 m <sup>2</sup>	敷地合計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	810.87 m <sup>2</sup>

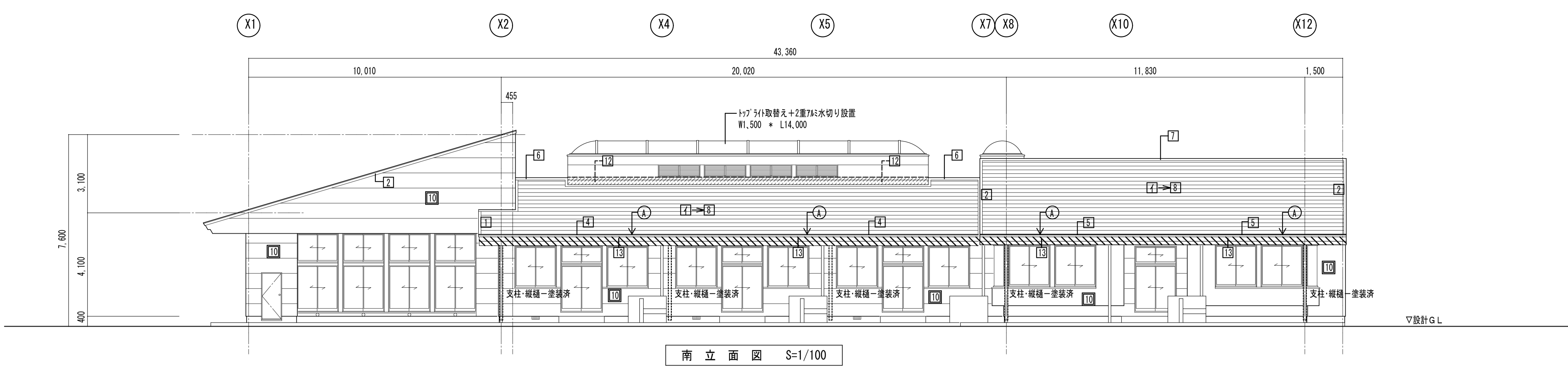


三日町保育園  
改修 平面図 S=1/100

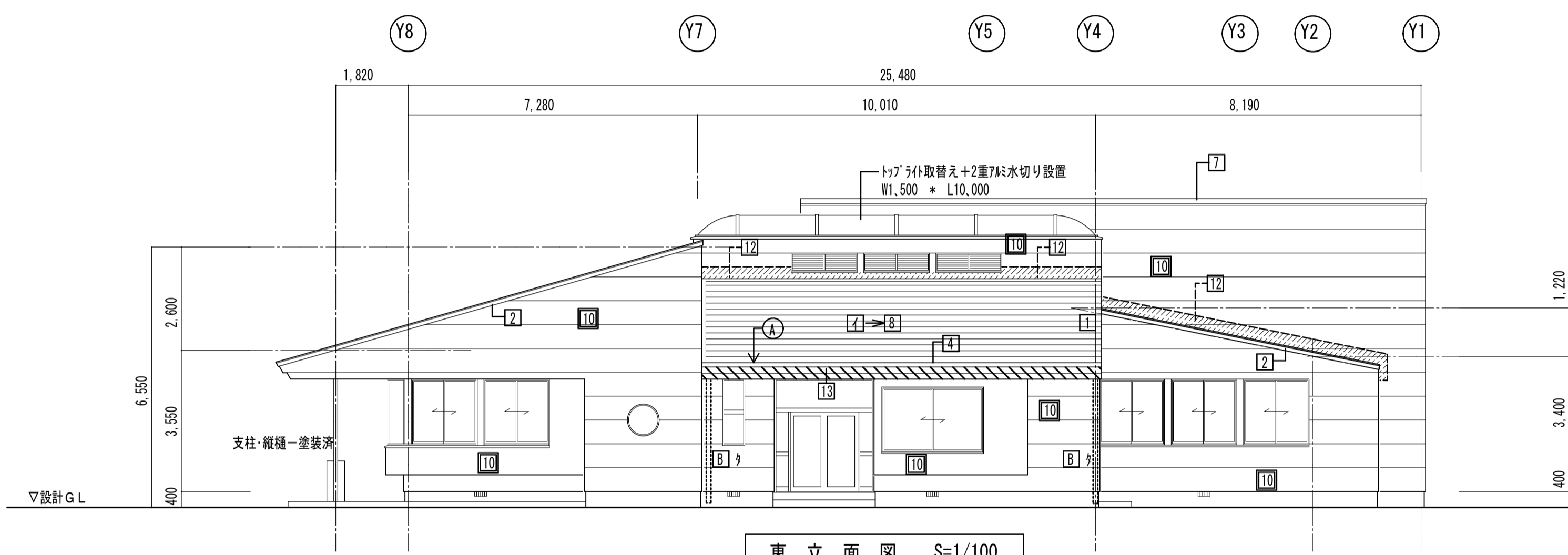
現況 屋根・柱仕様	
屋根仕上げ	① 鉄板横葺き
内蔵仕上げ	② 耐酸被覆鋼板 t-0.4・谷3/4 ③ ビニール 100φ 保護管 125φ
現況 外壁仕様	
外壁仕上げ	④ 外壁 ALC t-50

1. 塗装回数一〜2回を原則とする 2. 取合い部・必要に応じてシロコシラフ 15×15

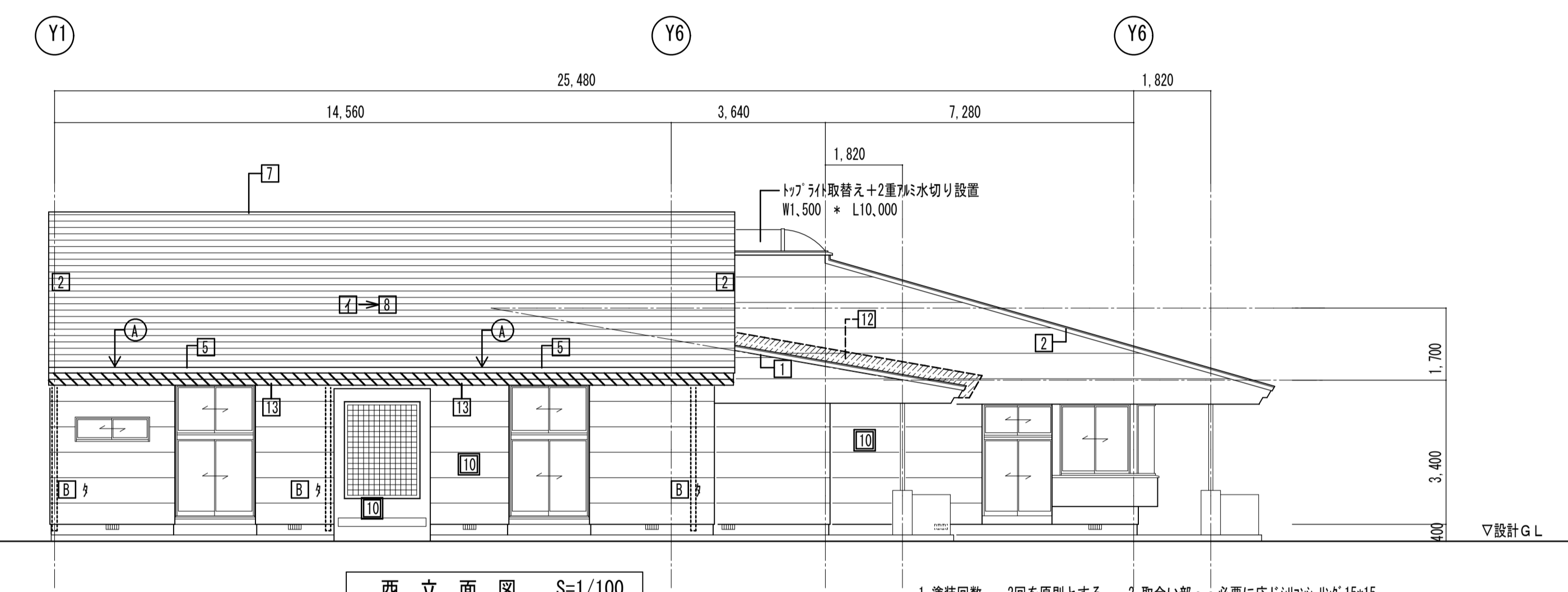
改修 屋根部仕様		改修 鉄部塗装仕様	
屋根部仕様	① 水切り・雨押え・幕板類一桁が 鋼板 t-0.4 取替え ② 水切り・雨押え・幕板類一桁が 鋼板 塗装仕上げ ③ 雨押え一桁が 鋼板 t-0.4 +77合板 t-12・1類 ④ 先端雨押え一桁が 鋼板 t-0.4 取替え ⑤ 先端雨押え一桁が 鋼板 t-0.4 塗装仕上げ ⑥ 頂部雨押え一桁が 鋼板 t-0.4 取替え ⑦ 頂部雨押え一桁が 鋼板 t-0.4 塗装仕上げ	3箇所 設備用7-ドほか	⑧ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 ⑨ 下塗 珪系さび止塗料 ⑩ 上塗 フッ樹脂塗料
改修 柱仕様		改修 外壁 ALC t-50 補修+吹付け仕様	
内蔵仕上げ (改修)	④ 耐酸被覆鋼板 t-0.4・谷3/4同等品	外壁 ALC t-50	⑩ 全面調査 一部撤去 + 新規・透湿防水シート貼り ⑪ 欠け部分ほか一専用補修材による補修 高圧水洗浄 下塗・可とう型塗材 上塗・フッ樹脂 シロコシラフ・・・板間・基礎・軒天・開口部
改修 屋根塗装仕様		改修 屋根一外壁取合い部仕様	
鉄板横葺き	⑧ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 ⑨ 下塗 珪系さび止塗料 ⑩ シロ樹脂塗料 ⑪ 上塗 汚れ付着物除去・目荒らし	外壁 ALC t-50	⑫ 一桁が 鋼板水切り t-0.4 77合板 t-12・1類-H300 ⑬ 77合板 t-12・1類
改修 縦とい・ビニール 100φ 塗装仕様		改修 内蔵先外壁取替え仕様	
縦とい	⑫ 下地調整	内蔵先外壁	⑬ 鋼板撤去 ⑭ 木製下地組み+77合板 t-24・1類 ⑮ 一桁が 鋼板巻き t-0.4
取付金物・保護パイプ	⑫ 下塗 珪系さび止塗料 ⑬ 上塗 フッ樹脂塗料		



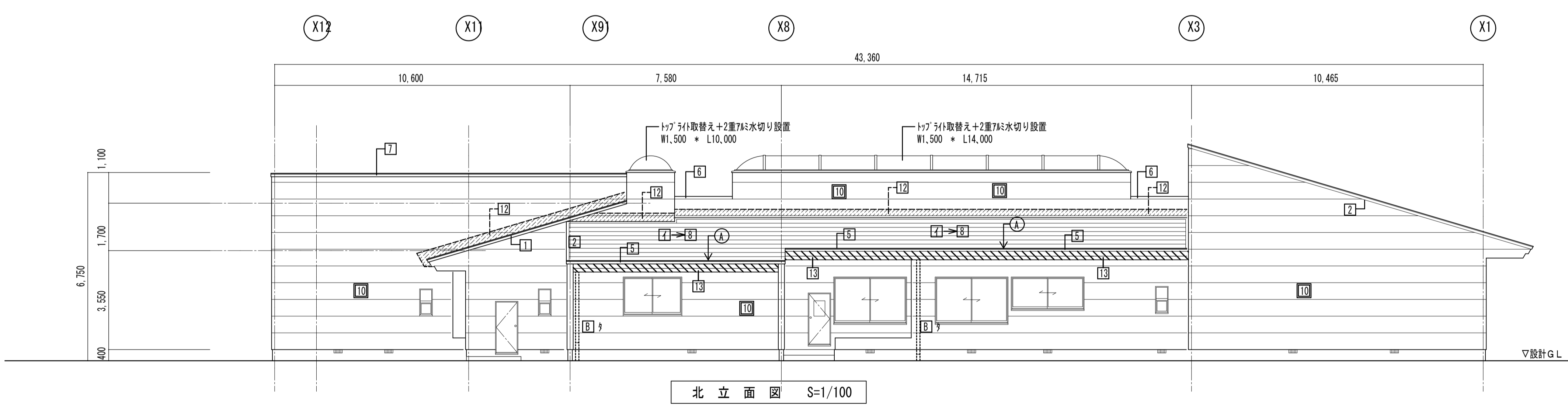
南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



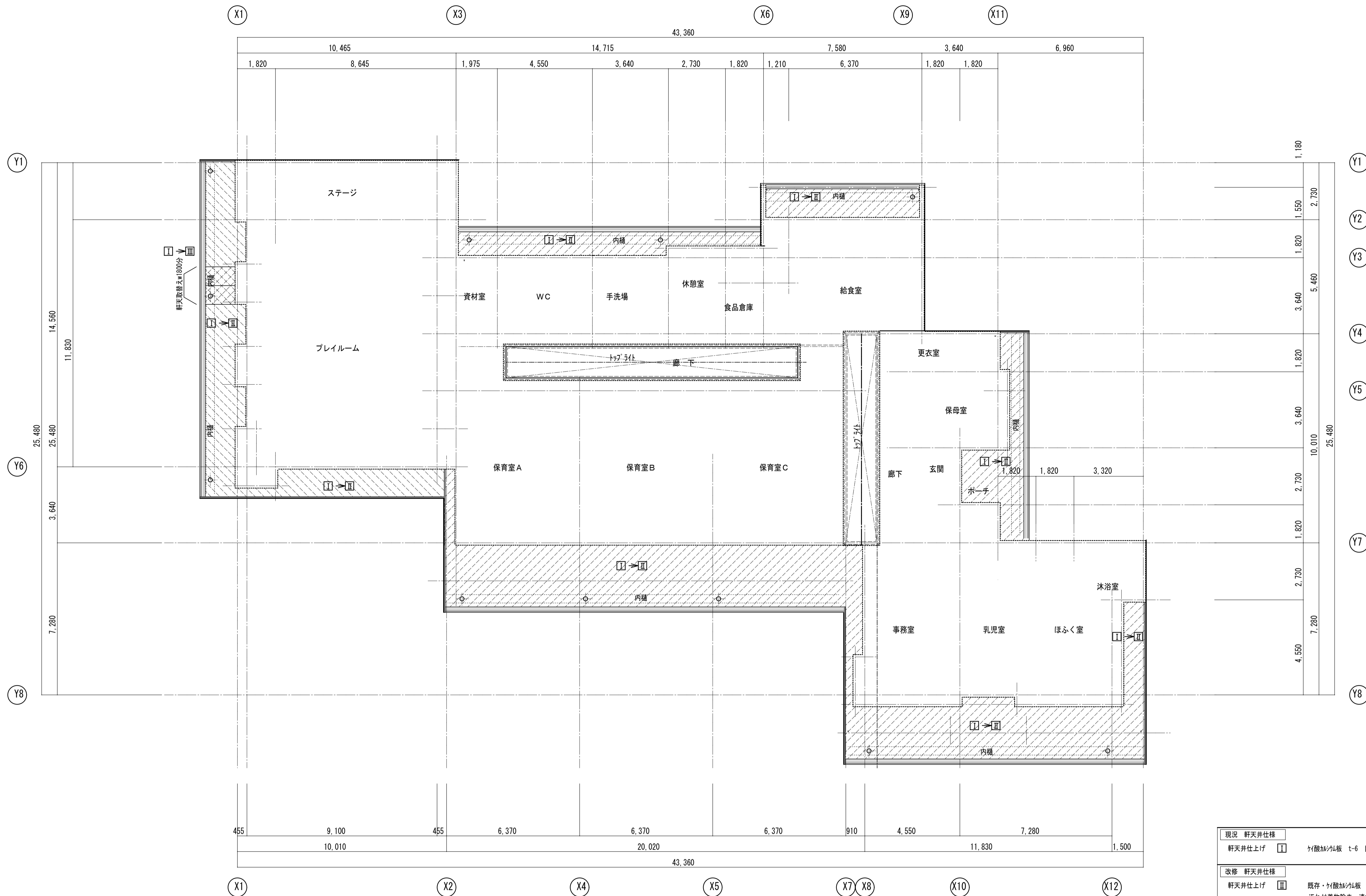
北立面図 S=1/100

1. 塗装回数一〜2回を原則とする 2. 取合い部・必要に応じシリコンシリグ 15\*15

<b>改修 屋根部材仕様</b> 屋根部材仕様 1 水切り・雨押え・幕板類一桁がM <sup>2</sup> の鋼板 t-0.4 取替え 2 水切り・雨押え・幕板類一桁既存鉄板 塗装仕上げ 3 雨押え一桁がM <sup>2</sup> の鋼板 t-0.4 +ワカ合板t-12・I類 4 先端雨押え一桁がM <sup>2</sup> の鋼板 t-0.4 取替え 5 先端雨押え一桁既存鉄板 t-0.4 塗装仕上げ 6 頂部雨押え一桁がM <sup>2</sup> の鋼板 t-0.4 取替え 7 頂部雨押え一桁既存鉄板 t-0.4 塗装仕上げ
<b>改修 種仕様</b> 内樋仕上げ (改修) ⑧ 耐酸被覆鋼板 t-0.4・谷3/4同等品
<b>改修 屋根塗装仕様</b> 桁鉄板横葺き ⑧ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 幕板・水切り共 下塗 珪酸系さび止塗料 既設雪止フック ⑪ 上塗 珪酸樹脂塗料 汚れ付着物除去・目荒らし
<b>改修 縦とい・ビニールイ-VU100Φ 塗装仕様</b> 縦樋 ⑧ 下地調整 取付金物・保護パイプ 下塗 珪酸系さび止塗料 上塗 カウチ樹脂塗料
<b>改修 鉄部塗装仕様</b> — 3箇所 設備用パイプほか ⑨ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 下塗 珪酸系さび止塗料 上塗 カウチ樹脂塗料
<b>改修 外壁 ALC t-50 補修+吹付け仕様</b> 外壁 ALC t-50 ⑩ 全面調査 一部撤去 + 新規・透湿防水シート貼り 一部コンクリート面 欠け部分ほか—専用補修材による補修 高圧水洗浄 下塗・可とう型塗材材 上塗・7&#226;シリコン樹脂 カウチシリグ・・・版間・基礎・軒天・開口部
<b>改修 屋根-外壁取合い部仕様</b> 外壁 ALC t-50 ⑫ 桁がM <sup>2</sup> の鋼板水切りt-0.4 7&#226;カウチシリグ940巻き ワカ合板t-12・I類-H300
<b>改修 内樋先珪酸幕板取替え仕様</b> 内樋先珪酸幕板 ⑬ 珪酸幕板撤去 木製下地組み+ワカ合板t-24・I類 桁がM <sup>2</sup> の鋼板巻き t-0.4

<b>現況 屋根・種仕様</b> 屋根仕上げ ⑦ 桁鉄板横葺き
<b>現況 内樋仕様</b> 内樋仕上げ ⑧ 耐酸被覆鋼板t-0.4・谷3/4 ⑨ ビニールイ100Φ 保護管 125Φ
<b>現況 外壁仕様</b> 外壁仕上げ ⑩ 外壁 ALC t-50

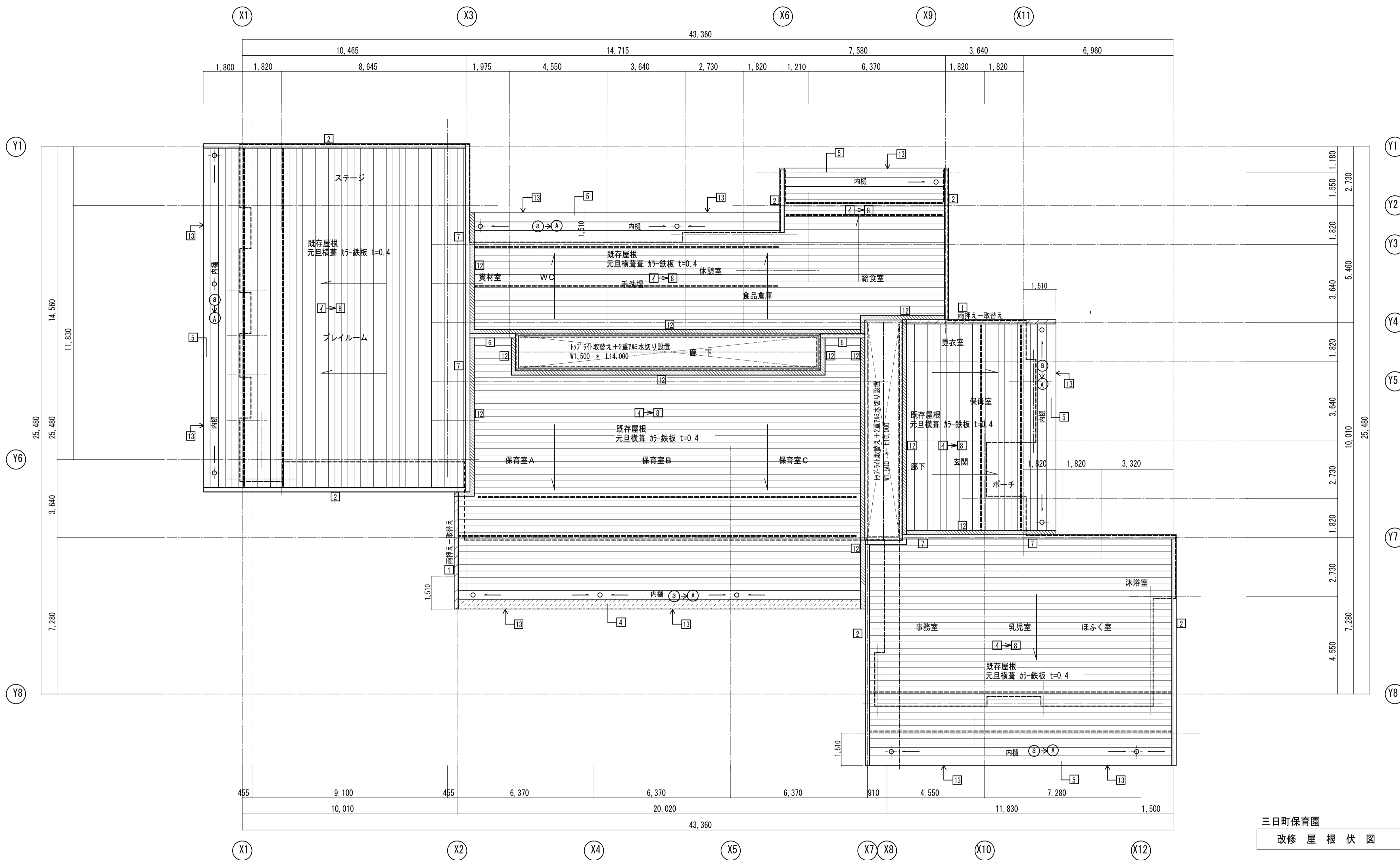




三日町保育園  
改修天井根伏図 S=1/100

現況 軒天井仕様	
軒天井上げ	Ⅰ
改修 軒天井仕様	
軒天井上げ	Ⅱ
一部軒天井	Ⅲ

Ⅰ ケイ酸カルシウム板 t-6 目透し E.P塗装  
 Ⅱ 既存・ケイ酸カルシウム板 t-6 目透し 汚れ付着物除去・清掃 A.E.P塗装  
 Ⅲ ケイ酸カルシウム板 t-6 目透し一張替え

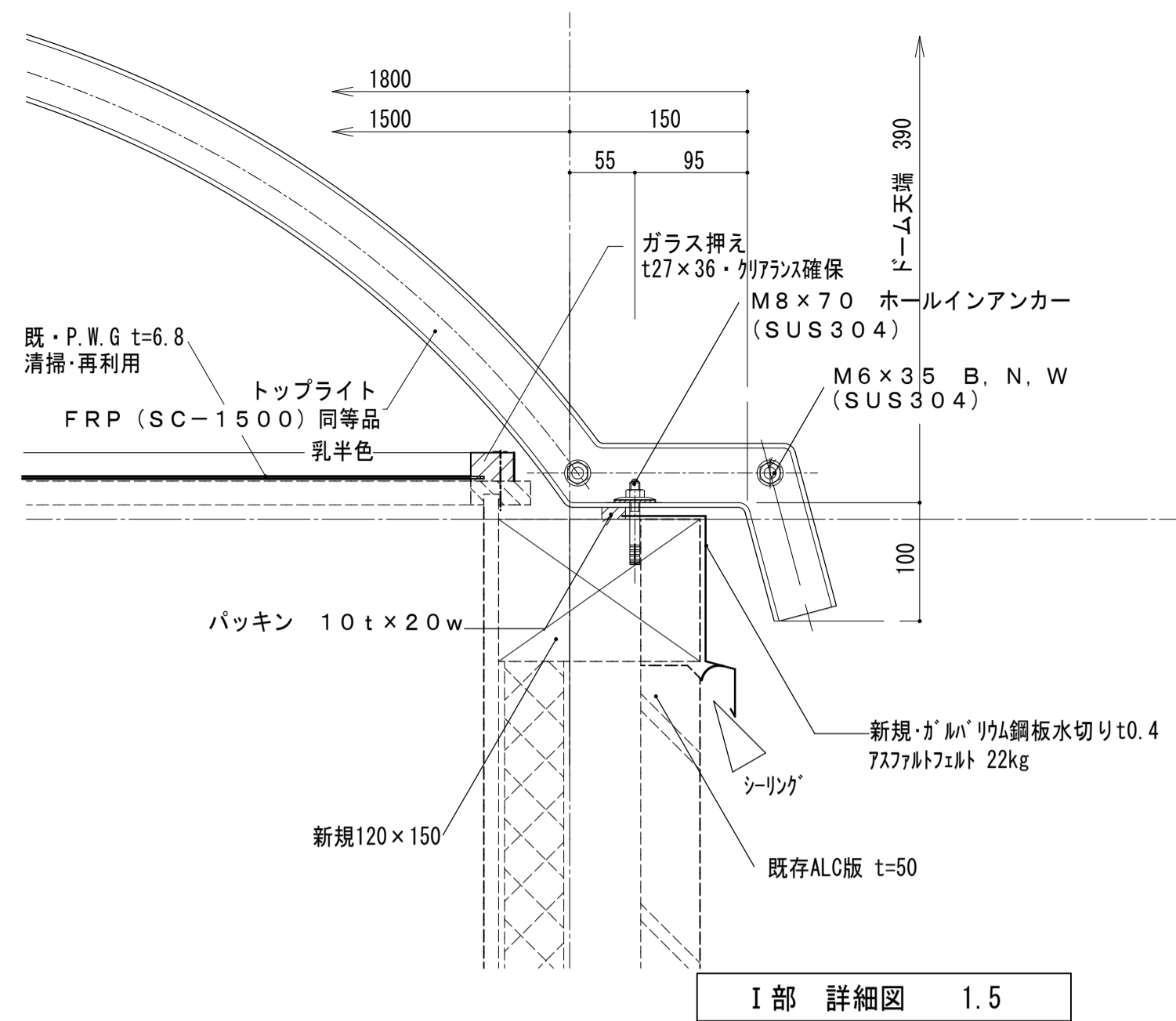


三日町保育園  
改修屋根伏図 S=1/100

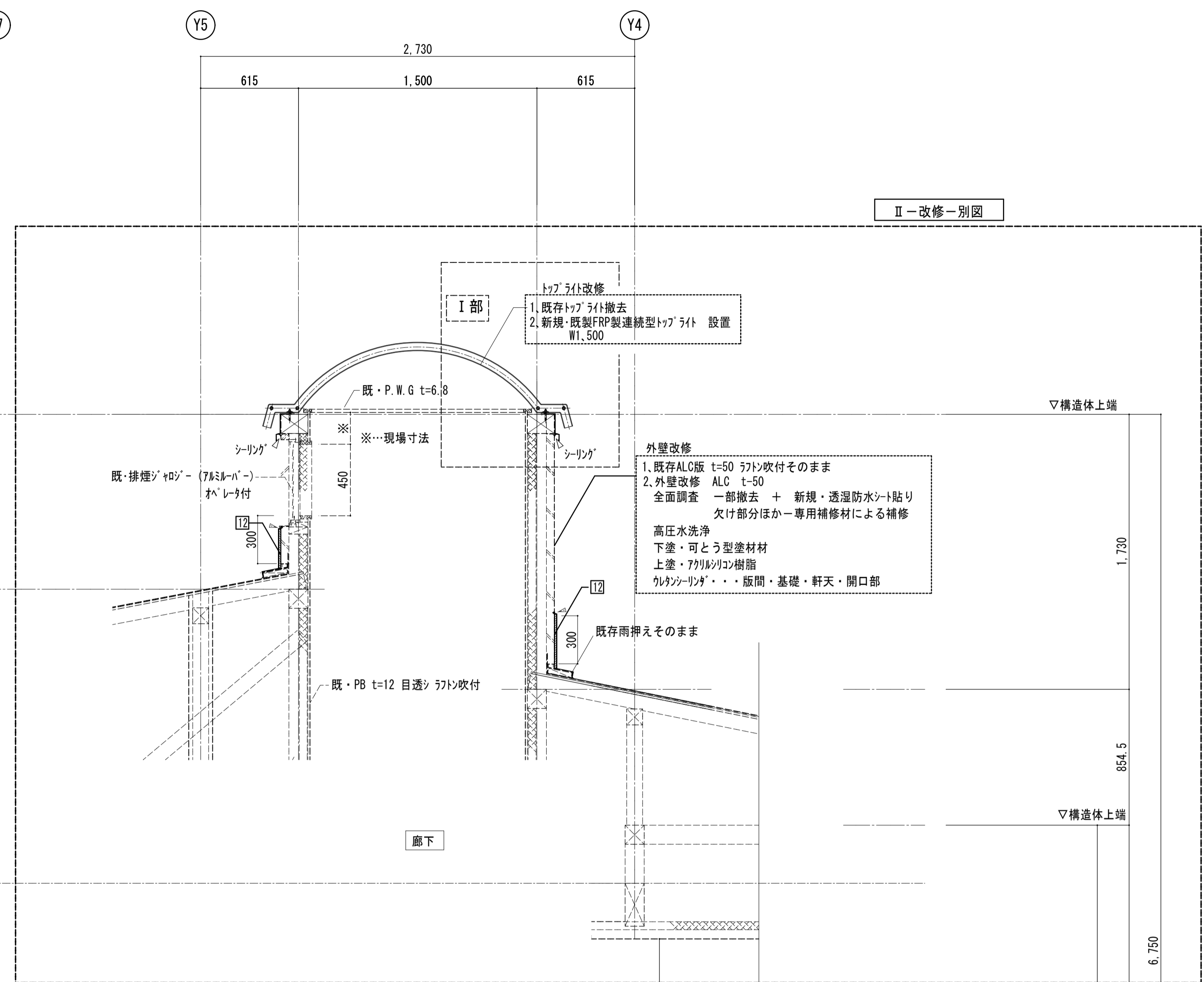
現況 屋根・種仕様	
屋根仕上げ	① 鉄板横葺き
内種仕上げ	② 耐酸被覆鋼板t-0.4・谷コブ ③ ビニール 100φ 保護管 125φ
現況 外壁仕様	
外壁仕上げ	④ 外壁 ALC t-50

1. 塗装回数—2回を原則とする 2. 取合い部・必要に応じシココンクリグ15×15

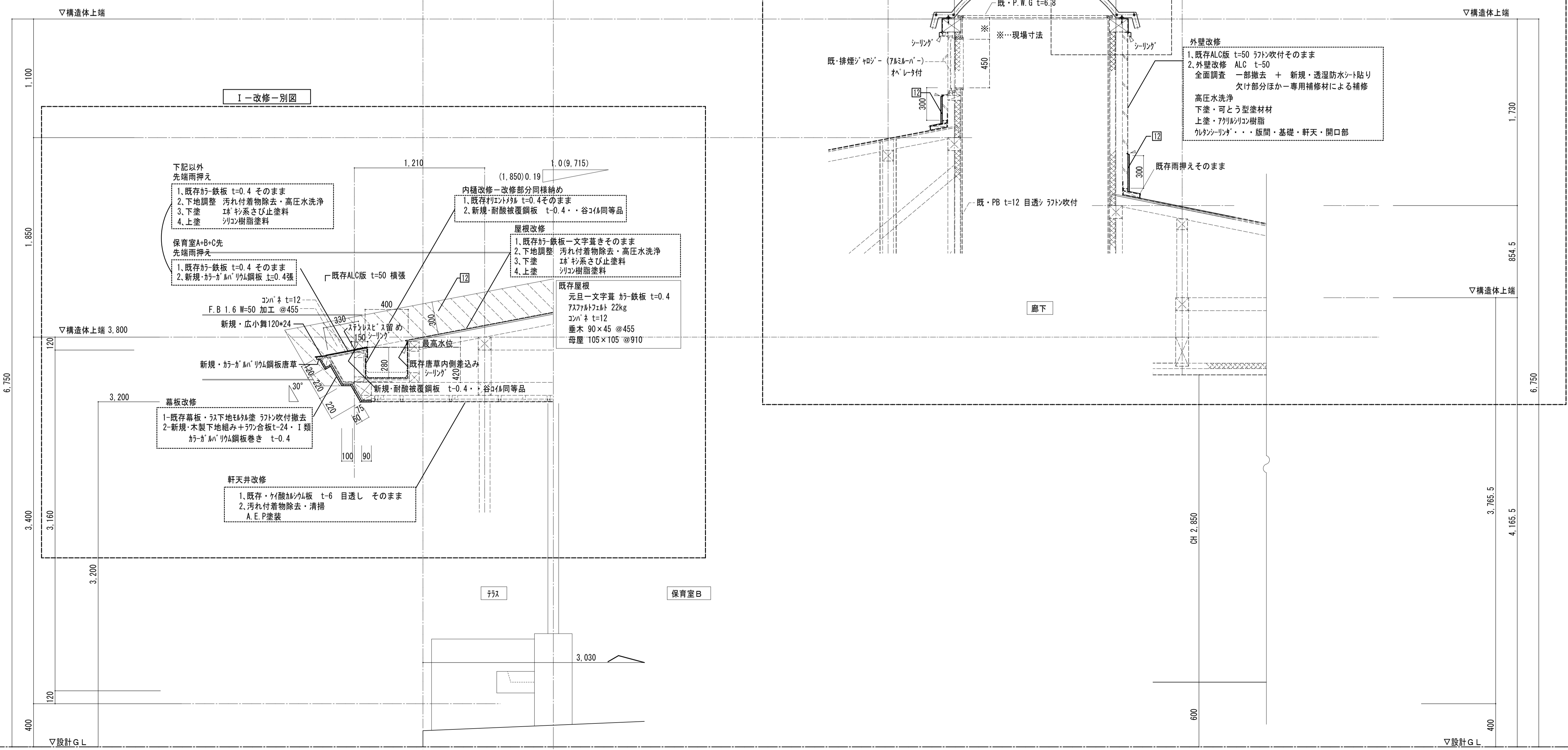
<b>改修 屋根部材仕様</b> 屋根部材仕様 ① 水切り・雨押え・幕板類—鉄板 t-0.4 取替え ② 水切り・雨押え・幕板類—既存鉄板 塗装仕上げ ③ 雨押え—鉄板 t-0.4 +フッ素樹脂塗料 ④ 先端雨押え—鉄板 t-0.4 取替え ⑤ 先端雨押え—既存鉄板 t-0.4 塗装仕上げ ⑥ 頂部雨押え—鉄板 t-0.4 取替え ⑦ 頂部雨押え—既存鉄板 t-0.4 塗装仕上げ <b>改修 種仕様</b> 内種仕上げ (改修) ⑧ 耐酸被覆鋼板 t-0.4・谷コブ同等品 <b>改修 屋根塗装仕様</b> 鉄板横葺き ⑧ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 幕板・水切り共 下塗 珪矽系さび止塗料 シコ樹脂塗料 既設雪止アングル ⑩ 上塗 汚れ付着物除去・目荒らし <b>改修 緩とい・ビニール—UV100φ 塗装仕様</b> 縦樋 ⑧ 下地調整 取付金物・保護パイプ 下塗 珪矽系プライマー 上塗 シコ樹脂塗料	<b>改修 鉄部塗装仕様</b> 3箇所 設備用ドレホカ ⑨ 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄 下塗 珪矽系さび止塗料 上塗 シコ樹脂塗料 <b>改修 外壁 ALC t-50 補修+吹付け仕様</b> 外壁 ALC t-50 ⑩ 全面調査 一部除去 + 新規・透湿防水シート貼り 一部コンクリート面 欠け部分ほか—専用補修材による補修 高圧水洗浄 下塗・可とう型塗材材 上塗・フッ素樹脂塗料 アルタナール・・・・板間・基礎・軒天・開口部 <b>改修 屋根—外壁取合い部仕様</b> 外壁 ALC t-50 ⑫ 鉄板 t-0.4 鋼板水切り t-0.4 フッ素樹脂塗装 940巻き フッ素樹脂塗料 t-12・I類—H300 <b>改修 内種先鉄板取替え仕様</b> 内種先鉄板幕板 ⑬ 幕板除去 木製下地組み+フッ素樹脂 t-24・I類 鉄板 t-0.4 鋼板巻き t-0.4
---	--



I部 詳細図 1.5



II-改修-別図



I-改修-別図

- 下記以外  
先端雨押え
1. 既存鉄板 t=0.4 そのまま
  2. 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄
  3. 下塗 珪酸系さび止塗料
  4. 上塗 シリコン樹脂塗料

- 保育室A+B+C先  
先端雨押え
1. 既存鉄板 t=0.4 そのまま
  2. 新規・ガルバリウム鋼板 t=0.4張

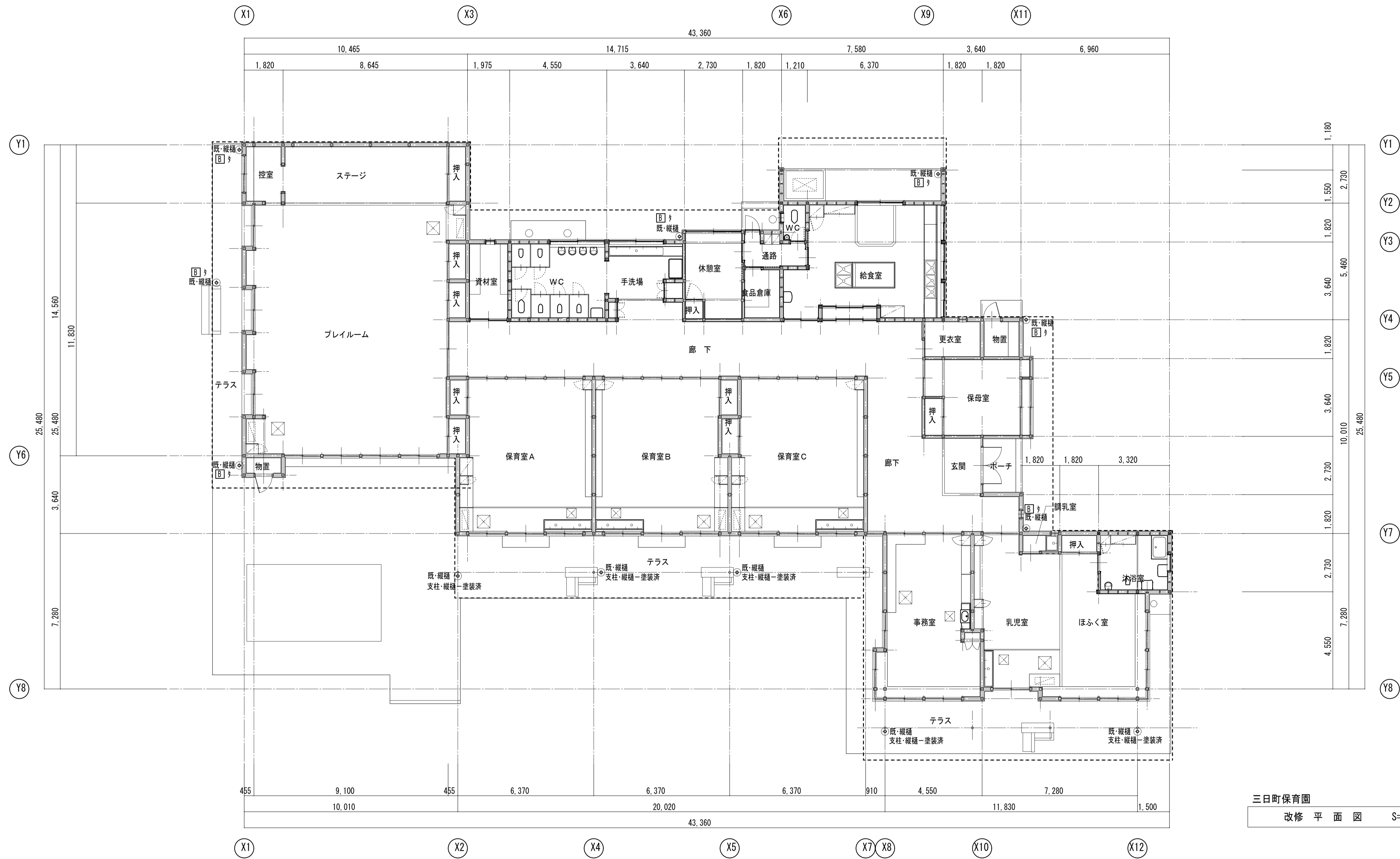
- 内種改修-改修部分同様納め
1. 既存鉄板 t=0.4 そのまま
  2. 新規・耐酸被覆鋼板 t=0.4・谷コイル同等品

- 屋根改修
1. 既存鉄板-文字葺きそのまま
  2. 下地調整 汚れ付着物除去・高圧水洗浄
  3. 下塗 珪酸系さび止塗料
  4. 上塗 シリコン樹脂塗料

- 既存屋根
- 元旦-文字葺 鉄板 t=0.4  
7x7x0.7x0.7 22kg  
コバ t=12  
垂木 90x45 @455  
母屋 105x105 @910

- 幕板改修
- 1-既存幕板・下地もみれ塗 フロン吹付撤去
  - 2-新規・木製下地組み+フロン合板t=24・I類  
ガルバリウム鋼板巻き t=0.4

- 軒天井改修
1. 既存・ケ酸加鋼板 t=6 目透し そのまま
  2. 汚れ付着物除去・清掃  
A.E.P塗装



三日町保育園  
改修平面図 S=1/100

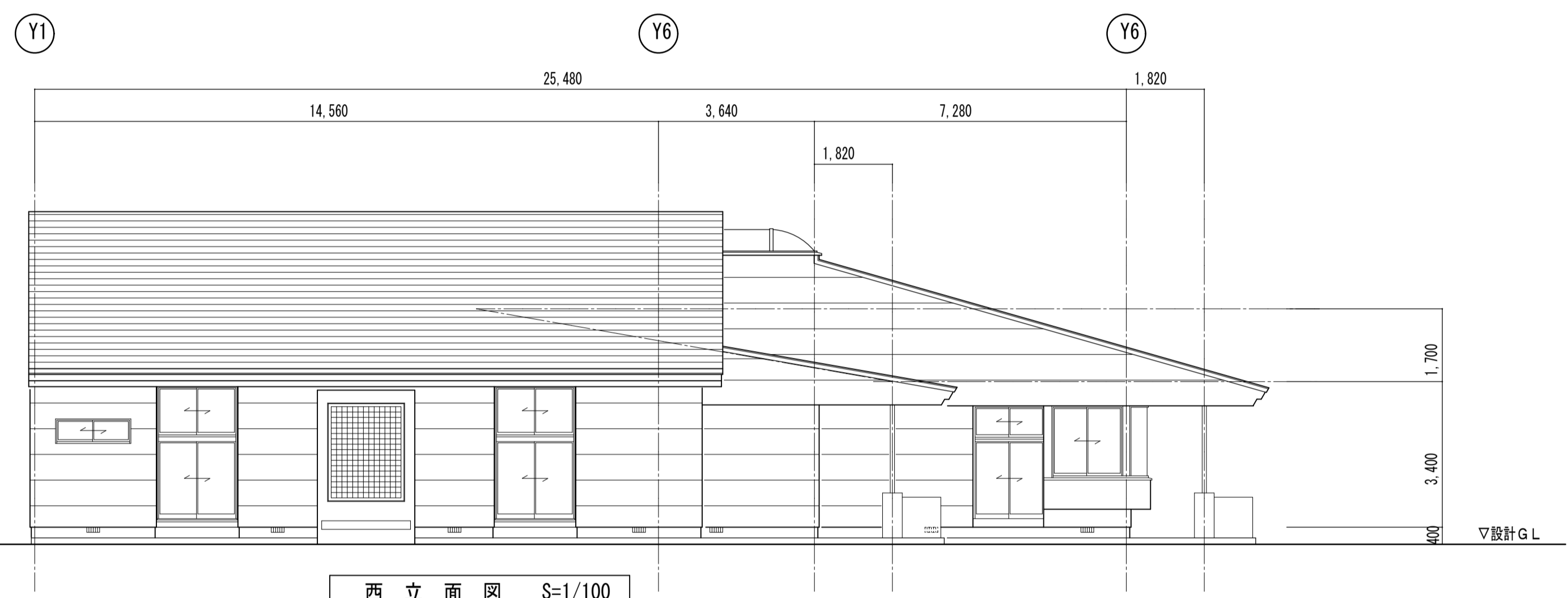
現況 屋根・種仕様	
屋根仕上げ	① 桁-鉄板構造
内種仕上げ	
②	耐酸被覆鋼板t=0.4・谷31#
③	ビニール17 100φ 保護管 125φ
現況 外壁仕様	
外壁仕上げ	④ 外壁 ALC t=50



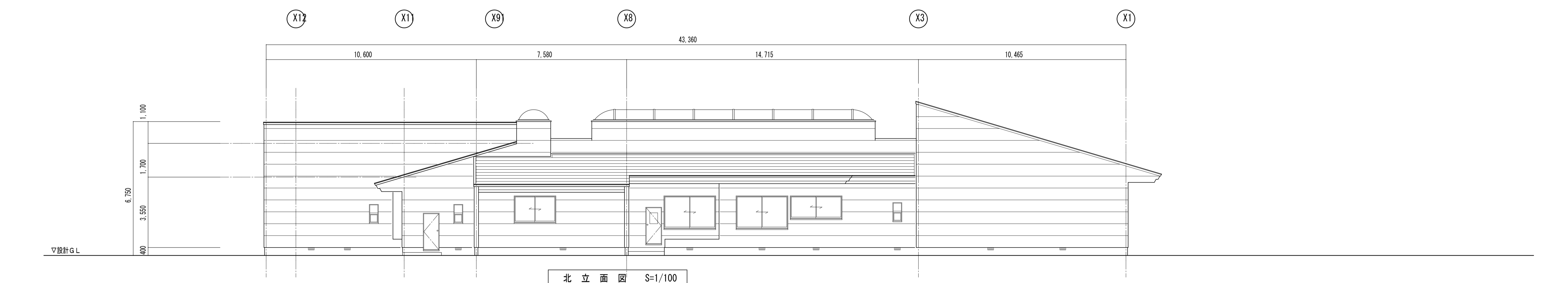
南立面図 S=1/100



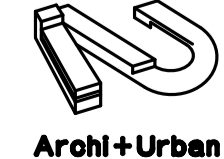
東立面図 S=1/100



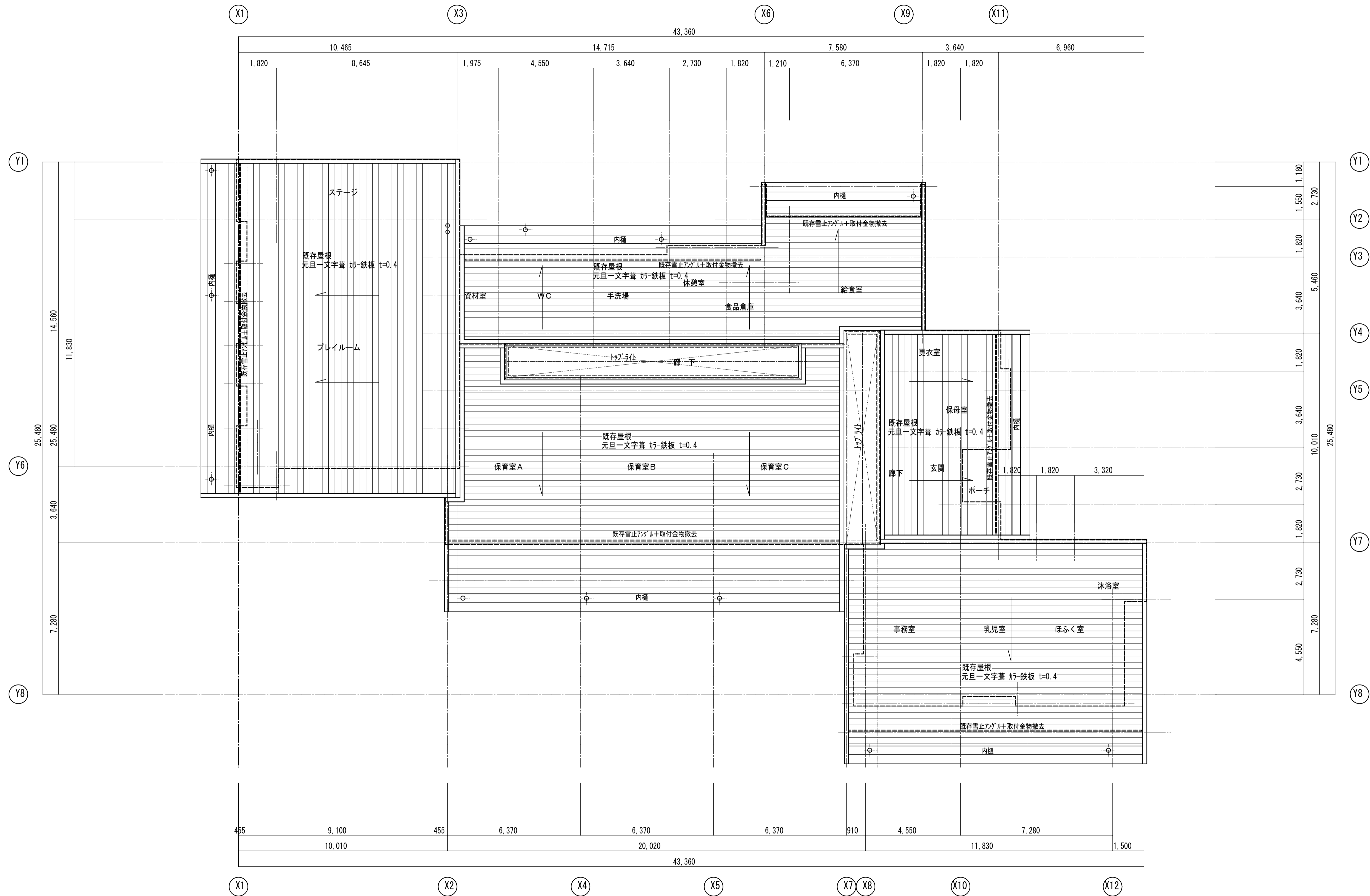
西立面図 S=1/100



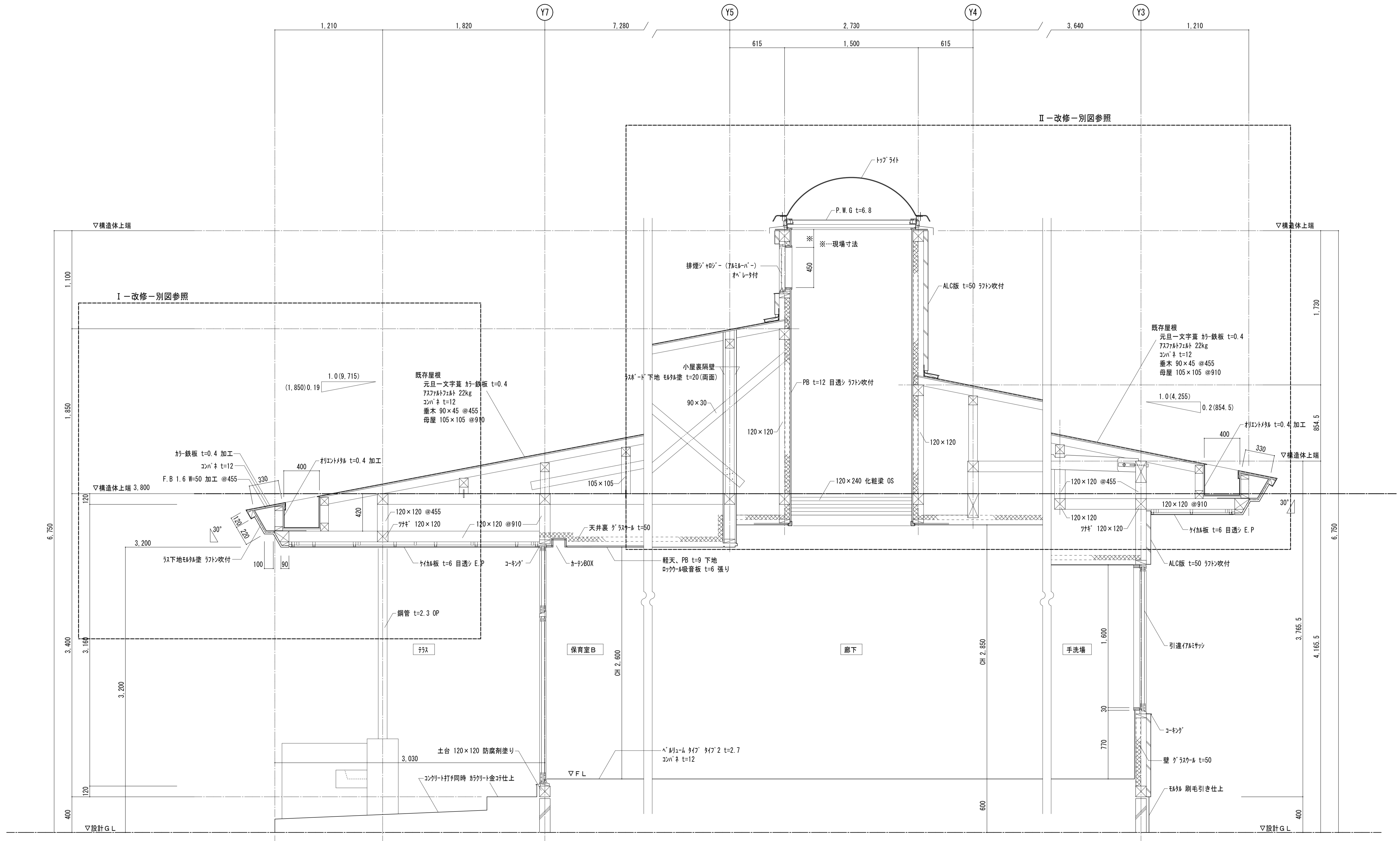
北立面図 S=1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	 株式会社 エー・アンド・ユー設計事務所	一級建築士事務所登録 上伊E第6X093号 一級建築士登録 第168045号 管理建築士 伊藤 智 長野県 上伊那郡 箕輪町大字中曾根 297-2 TEL (0265)79-0797 ・ FAX (0265)79-0533	SHEET NO. 12-三聯立7
	令和元年度 三日町保育園 園舎長寿命化工事	現況 立面図	1:100 A3サイズ-1/200	R01.08	...	...			三日・D 12

三日町保育園



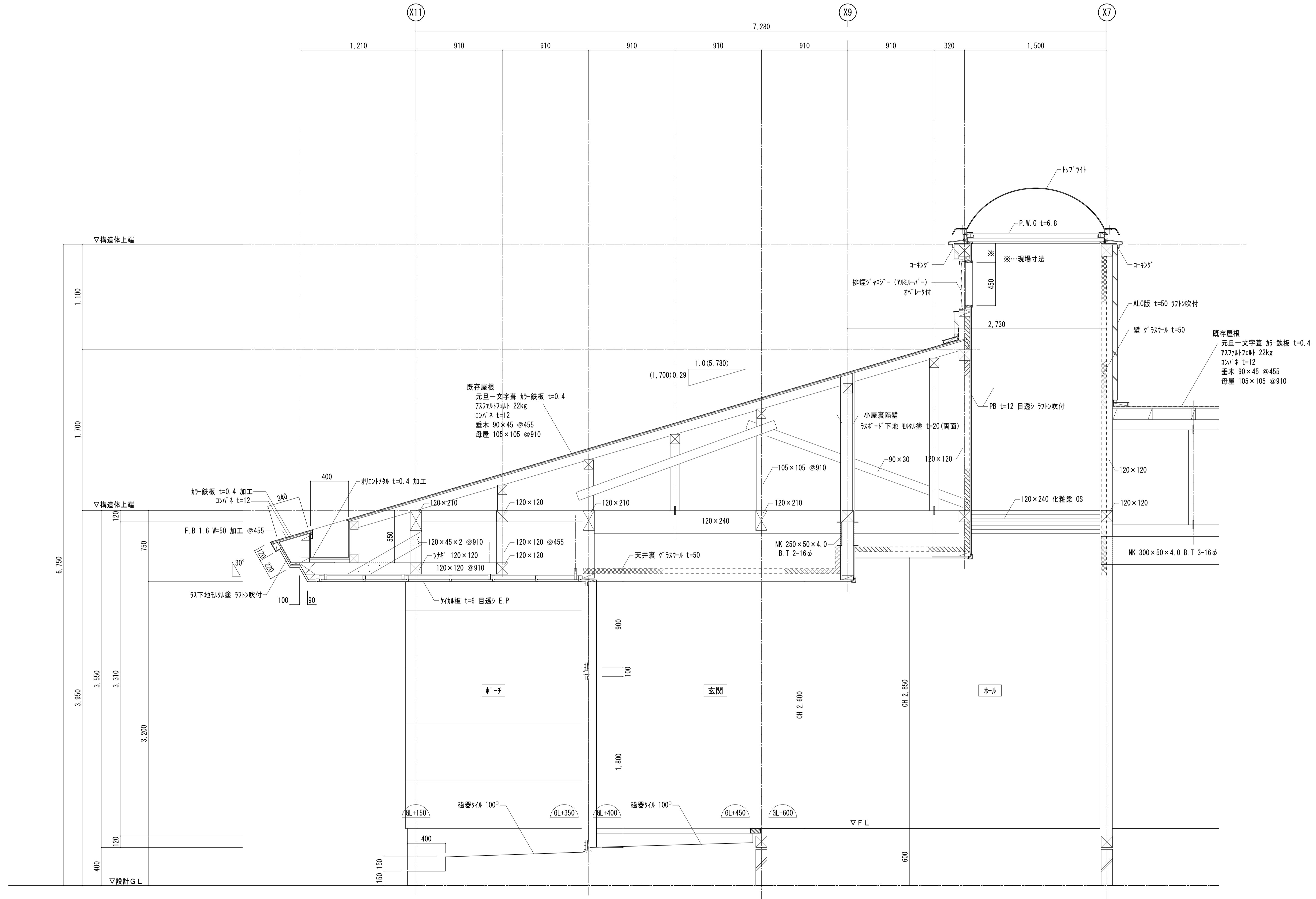
三日町保育園  
現況屋根伏図 S=1/100



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	三日町保育園	
	令和元年度 三日町保育園 園舎長寿命化工事	I-I 現況 詳細図	1:20 A3用紙 -1:40	R01.08			一級建築士事務所登録 上伊E第6X093号 一級建築士登録 第168045号 管理建築士 伊藤 智 長野県 上伊那郡 箕輪町大字中曾根 297-2 TEL (0265)79-0797 FAX (0265)79-0533	SHEET NO. 14-1 現況編 5
							株式会社 アー・アンド・ユー・設計事務所 Arohi+Urban	三井・D 14

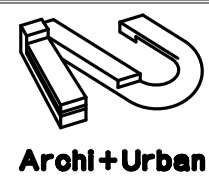






III-III  
現況矩計詳細図 1:20

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	MEMORANDUM	SHEET NO.
	令和元年度 三日町保育園 園舎長寿命化工事	III-III 現況 詳細図	1:20 A3用紙 -1:40	R01.08			三日町保育園 一級建築士事務所登録 上伊E第6X093号 一級建築士登録 第168045号 管理建築士 伊藤 智 長野県 上伊那郡 兵輪町大字中曾根 297-2 TEL (0265)79-0797 FAX (0265)79-0533	16



株式会社  
エー・アンド・ユー設計事務所